

小学校再編計画(案)保護者説明会・質疑応答(概要)

○日時:令和元年11月10日(日)11:35~12:30

○場所:古島小学校多目的ホール

質問・意見等	筑後市からの回答
<p>水田小から直線で2km圏内はどの辺までが入るのか。</p>	<p>古島小学校区では折地行政区と古島行政区にお住まいの児童は2km以内ということで、原則に照らせば、歩いていただくという考え方になる。</p>
<p>その辺は距離がちょっと微妙ではないか。井田上とかのバス停に行けばバスに乗れるという配慮は必要ではないかという気がする。</p>	<p>原則としては先ほど申し上げた考え方に立っている。詳細は再編準備委員会の中で地域実態も見て検討させていただきたいと考えているので、多少の幅はあるとは思っている。</p>
<p>保護者の方の話でよくするのが、1クラス何人になる予定なのか。自分の子どもは卒業したが、今古島小は少人数で、目の行き届いた教育をしていただいている。自分の子供は算数が悪くて、算数の底上げをしていただいた経験がある。クラスの人数が多くなるとその辺が手厚くしていただけるのかなという不安がある。 また、クラスが多くなるといじめの問題などが出てくるんじゃないかという意見もある。</p>	<p>水田・下妻・古島小を再編する学校は、例えば1年生は63名、学級数は2、1クラス31名くらい。2年生は86名、学級数は3、1クラス28名くらい。4年生は94名、学級数は3、1クラス31名くらいというようなクラスの児童数になるとご理解いただきたい。 筑後市は今、クラスの人数を35人以下という設定をしている。それで学級数が決まってくる。古島小学校は今1番多くて15人くらい。基本的には35人以下の学級を作る考え。 いじめの件に関しては、これまでのデータを見ると、子どもの数が多い少ないは基本的に関係ない。いろんな事例を見ると少ない方が重篤化する可能性は高い。クラス編成があることによって、新たな人間関係が作れる。人間関係が固定化することが減るということは、逆にいじめの解消にもつながる。また、いじめは実は大人はなかなか見抜けない。教員も一生懸命子ども達の生活様式を点検しているが見抜けない。見えないようにやるのがいじめの実態。実は子どもが一番いじめを知っている。小さい集団だといじめはその中で確立する。でも大きな集団の中では、それが崩れる可能性がある。人間関係が固定化しない。子供の目が一番いじめの発見には役立つ。そういうふうには私は思っている。ある程度の数の学校の方が、いじめがあっても解消につながる。そういうことが期待できると思っている。そういう思いもあって今回の子ども達の数を少し増やして、子供達の成長につなげていければというふうに思っている提案させていただいている。</p>
<p>どういう方をメンバーとして、検討委員会を設置予定なのか。</p>	<p>PTA、地域の代表、教職員等の方で組織するものを設置して協議をしていきたいというように考えている。</p>
<p>学童が心配。1・2・3年生だけでも150人は超えている。人数が増えたとどうしても低学年が優先になり、高学年になると学童に入れないという現状だと思う。今水田小に通っているお母さんから2年生・3年生でも入れなかったという声も聞いた。こちらが地元ではなく、親に頼れない、見てもらう人がいないとなると子どもだけで留守番となる。2・3年生になり、下校時間が遅くなれば、親も帰ってきているが、長期休暇の時、子ども達だけで留守番させることになるのが、とても不安。待機児童が生じないように十分な対応というのは、どのようにするのか聞きたい。</p>	<p>担当の子育て支援課と意見交換をしながら進めている。細かいところは決まっていないが、考え方としては新設する学校のところに大きな学童を作り、しっかり受け入れられるような施設にしていこうという考えでは一致をしている。待機児童が生じないように、責任をもって行政の方で取り組みをしていきたい。 今回考えている水田小学校と水田コミュニティセンターはかなり広い敷地になるので、十分対応ができるのかなと思っている。</p>

<p>筑後市内では見ないが、制服の検討はあるのか。柳川などは制服があるが。</p>	<p>今のところ考えていない。おそらく制服があるところも市が決められているのではないと思う。学校ごとに標準服とか、イベントの時に着ていくとか、そういう学校が多いのではないか。そこそこの学校で検討しているのではないかと思う。</p>
<p>新設校の場所については、6校統合の時に考えられていた場所なのか。児童が一番多い水田を基準に考えられているところがある。下妻校区・古島校区は、スクールバスがあっても地域的には過疎化していくと思う。それを考えた時に、3校を再編するときの場所がこれでいいのかなと思う。小学校の位置に対して住宅が建ったりインフラの整備が進んだりすると思うので、この位置について見直しはないのか。先々児童数が減っていくのを見越したところでこの位置にしているのか。</p>	<p>昨年の6校1校の時もこの場所で提案をさせていただいた。市の市有地としてコミュニティセンターも含めて広い場所が確保できるということが一番のメリットである。</p> <p>筑後市の場合は、スクールバスといっても10分か15分。山間地域の学校再編では、地域の人でも平野部に下りてくるというような展開になっているが、平地での再編は違う。例えば私達は大牟田市の大牟田中央小学校を視察した。上官小学校などが再編して新しくできているが、上官小学校区で人口が減ってきたのかということを確認したら、決してそういうことは起こっていないということだった。これは飯塚市も同じ。飯塚市も平地で再編をやっているが、再編で学校が無くなった地域で人口減少は起こっていないという状況。なので、一般的に学校が無くなると地域が衰退するという考え方は山間地域と平地では違うという思いの中でやっている。もうひとつは、校区が広がるということ、お住まいの方々の地域も広がるという考えを持っている。スクールバス云々は賛成・反対あると思う。これは私の仮説だが、ここに住んでスクールバスに乗って行った方がいいんじゃないかという考えで居住するとか、そういうことも考えられるのではないかと思う。</p>
<p>学童について説明があった。新しい校舎の近くに大きい学童の施設を作ることだが、旧学校の敷地内に作ることは可能か。学童として預かってもらうというのもあるが、学校は避難所としての目的もあるので、校舎がなくなった後の新しい施設として学童保育も兼ねた地域の施設ということは可能なのか。</p>	<p>学校の跡地の関係については、今のところ具体的な案は持っていない。今後皆様の意見を聴きながら進めていくことになるだろうと思う。学童に関して言えば、大きいところにひとつ作るという計画だが、今やっている学童をそのまましばらく残してほしいというようなご意見が多ければ、検討の余地は十分あるだろうと思う。例えば経過措置を設けてしばらくは元の場所で学童をやりながら、新しい場所に集約をしていくとか。地域の皆様がここでやっていきたいということであれば、協議をしていくことは可能だろうと思う。学童のことにに関しては詳しいところまで決められていない。今回の案が決まらなとなかなか進められない。まずは枠組みを決めさせていただいて、個別の課題についてはしっかり皆さまのご意向も踏まえながら対応していくことが大事だろうと思っている。</p>
<p>古島小学校が再編して無くなった場合、子ども達の遊び場が無くなってしまう。古島公園しか今現在ないので、今後学校のグラウンドで思いっきり遊ぶことができるのか。図書館の利用について、学校が無くなってしまって、夏休みなど水田校区まで図書館に借りに行くのは遠い。古島小学校の図書館を残して、夏休みにこの場所で本を借りたりできないか。</p>	<p>それも跡地活用のひとつの案なのかなと思う。跡地の利用については今の段階では、売却が基本としているが、地元から提案があれば実現性などを検討して可能な限り尊重したい。その中で地元の総意としてご要望があれば有効な方法を考えていきたい。</p>

<p>跡地利用について「極力地域の活性化に寄与する用途となるよう検討していきます」とあるが、これを「原則地域の活性化に寄与する用途になうよう検討し、場合によっては普通財産として売却することもあります」とはならないか。</p>	<p>案としてはこの内容で提案をさせていただいている。跡地活用についてはこの場で、例えば図書館を作りますとかいろんなことをいっても、なかなか実現性は低いのかなと思う。私がおあいさつで言った2点、再編の枠組みと学校の場所。このことを説明して、計画としてまとめていきたい。その枠組みが決まらなないと、後のことはなかなか先に進まないのかなと思う。今回お示している内容で現時点ではご理解いただきたい。</p>
<p>今から再編準備委員会が立ち上がるということかと思う。最終決定は何月頃になるのか教えてほしい。</p>	<p>現時点での考えだが、11月に各説明会とかパブリックコメントを行って意見をとりまとめたいと思っている。その内容を12月議会に報告したい。1月に教育委員会の会議がある。そこが計画を決定する機関となる。議会のご意見も踏まえた上で、全体的にこの案を支持する方が多いということであれば、そこに(案)を取るという提案ができればと思っている。</p>

小学校再編計画(案)説明会・質疑応答(概要)

○日時:令和元年11月24日(日)13:30~14:30

○場所:馬間田公民館

質問・意見等	筑後市からの回答
<p>新設校はコミュニティスクールという位置づけをしたいとあるが、コミュニティスクールの定義、従前と変わってくるのであれば教えてほしい。</p>	<p>基本的に学校運営協議会を設置した学校をコミュニティスクールと呼ぶというのが国の枠組み。下妻小は今年からコミュニティスクールとして取り組んでいただいている。その枠組み自体は変わらない。地域の方々と学校とが子ども達を育てる共通の目標を共有して一緒に子ども達を育てていきたいという考えを持っているので、今と変わらない。</p>
<p>スクールバスについて、バス停については1行政区に1ヶ所もしくは複数行政区に1ヶ所とあるが、下妻校区から直線2キロを超えているところは下妻、富安、中牟田、馬間田といったところだが、下妻校区の場合、複数行政区はどういう想定か。</p>	<p>複数行政区になる地域もあると思っているが、下妻の場合は地域が広いので1行政区に1ヶ所という設定の仕方の方が多いのかなと思っている。保護者の方も入っていただく再編準備委員会というものを立ち上げて、それぞれの地域にあった設定の仕方を地域の皆様と共に決めていくというのが基本になるというご理解でお願いしたい。</p>
<p>跡地は学校施設としての目的がなくなれば普通財産として処分していくのが原則という考え方と思うが、下妻小は130年くらい経っている。そういった中で、校区の方の協力を得ながら学校を維持してきたという経過を踏まええた時、普通財産だから処分しますという市の一方的な措置は好ましくない。考慮されるべきではないか。十分地元と協議して、下妻小があった場所という意義のある場所なのでそれに相応した活用法を地元と協議していただきたい。区長会なのか、コミュニティ協議会なのか分からないが、何らかの形で地元の代表と協議をして、一方的にならないようお願いをしたい。ある意味それが、納得する1つの要件と思うが。</p>	<p>「原則となりますが」と書いているように、一方的に売ることをするつもりは全くない。例えばコミセン機能の一部の移転先の候補にもなるし、地域の皆さん方のご意向も聞かせていただきたい。ただ、できることとできないことはあると思う。企業に来てほしいとか、宅地造成をしてほしいと言っても、出てきてくれる企業があるのか、宅地造成してくれるような不動産屋さんがあるのかなど、そこそこの学校の跡地によって適正な用途、できることは変わってくると思う。そういった意味で地域の皆さんとも話し合いをしながら考えているが、どういう形で話し合いをしていくのかは、まだ確定はしていない。再編準備委員会で議題の1つにしていくのも考えられるだろうし、校区コミュニティ、あるいは校区単位で行政区長と話しをしていくことも考えられると思う。多分皆さん方も行政区なり校区コミュニティの中で、こういうものが欲しいなどいろんな意見は出てくると思うので、集約などしていただけたらいいのかなと思う。跡地活用をどうするのかというのは、計画が確定した後になると思うが、話はしていきたい。</p>
<p>特別許可区域について。下妻小は新設校で水田と一緒にになるが、常用行政区は今水洗小に行っている2隣組がある。通学区域は行政区が基本であるべきと考えられているようなので、個別の話で申し訳ないが、この際、ぜひ常用行政区の中の水洗小に行っている方も一緒にしていただきたい。</p>	<p>特別許可区域のことでここに書いているのは、今回新たな学校ができることによって、違うところにまで特別許可区域をつくっていく考えはないという意味。仰るとおり私達も行政区が基本だという考えを持っている。ただこれまでいろんないきさつがあってどうしても特別許可区域を設けなければならなかった。市民の中には、もう少し融通を効かせて違う学校にも行けるようにした方がいいのではないかという声もあれば、一方では、今日仰っていただいたように、特に子供会の組織などが二手に分かれたりしてなかなか地域にまとまりがつかれないので、是非解消してほしいという意見など、いろいろ聞いている。そういったご意見があるので、しっかりご意見を踏まえながら、この再編の計画がきちんと固まったら、その整理に向けて考えていきたい。</p>

<p>スクールバスについて。朝1便は問題ないと思うが、帰りの時間帯は何便かあるのか。学年によっては多少時間差もあると思う。部活動があれば遅くなる子どももいるだろう。コースは回っていくのか。再編準備委員会でコースが決められると思うが、どういったコースを考えているのか。それによっては時間も随分変わってくると思うがどう考えているのか。</p>	<p>スクールバスの詳細は、再編準備委員会の中でそれぞれの地域に合った実情に沿った形にしていきたいと思っている。一律にこうするとういうような答えは持っていない。一般的には、例えば帰りのバスは、低学年は時間が早いので2便になるように設定しているところが殆どだと思う。概ねそうなるのかなと思う。朝2回往復する地域ももしかしたら出てくるかもしれない。そういうことは、バス停をどこに何ヶ所設定するのか、バスの大きさ、運行ルートをどう取るのかというようなことと絡んで決まってくるので、現時点ではきちんとしたことはなかなか申し上げるのは難しい。再編計画が決まった後、決めていきたいということでご理解いただきたい。</p>
<p>古川・水洗で一緒になった場合、クラス替えできる学年とできない学年が出てくる。減っていけばその数も増えてくる。そうすると理想的なねらいの方向にはいかないの、逆に言えば古川・水洗だったら1つの小学校をこちらにもってきて、同じ3校なら3校だが、クラス替えできるような割振りにもっていく。もしくはそもそも3校に分けるのではなく2校にしてしまうのか、そういう形に考え直すのがいいのではないかと思う。</p>	<p>そういうことも含めて昨年度6校1校という提案をさせていただいた。それについては児童数が850名を超えるような数になるということで、若干ご心配の声が多かったということで、今回の形で案を示させていただいたところ。今回の目的は、100名以下の学校の解消と老朽化している学校施設の解消ということに少しトーンダウンした。二川小も現状として学級編成は1年生だけしかできていない。水洗小、古川小についても令和7年度は2学年は1学級という状況。私達としてもどう組み合わせた方がいいのかということを考えてながら、この提案をさせていただいたところ。</p>
<p>跡地利用の件。下妻小は長い歴史があって、完全になくなってしまっていて、何かに変わるというのは非常に心苦しい。前々から言っているように防災拠点、例えば北部だとチクロスができていて、南部は何もできていない。県道が新たに整備されている。県道は今の地面より高いので、今の小学校への非難経路みたいな形で整備すれば防災拠点にできるのではないかと思うがどうか。</p>	<p>今の段階でそれについて、それでいきたいと思いますとは言えないが、ひとつの発想だというふうには思う。建物を全部潰して更地にするのかしないのかという問題がまず出てくるのかなと思う。例えば防災拠点ということであれば、体育館を残すという考え方も有り得ると思う。コミセンの野球場を移転させるのであれば運動場は残すだろうし、下妻の場合は学校施設の一部を校区コミュニティ協議会の事務所として使っていると思うので、そこをどうするかという課題が出てくるかと思う。ひとつ言えるのは、防災拠点を南部につくることについて、チクロスは高台にあり、水に浸からないので、最後の砦みたいな形でつくっている。南部に防災拠点をつくるとなると、水に浸からないようなところにつくるべきだと思うが、その意味では下妻小が適しているかどうかは、どうなのかなというものはある。全く否定はしないが。</p>
<p>心配なのは、直近の台風19号であれだけ広い範囲でいろんな河川が氾濫して被害がでている。幸いに筑後市は被害があまりでていない。ただし、ああいう形になって、矢部川、沖ノ端川が氾濫すると、このあたりは全部浸かってしまう。このあたりで一番人数が収容できて高さがあるところ、避難できるところは小学校になる。だからそこへの道を整備すればいいのではないかと思う。</p>	<p>垂直避難できる場所としては、ひとつの候補になる。ご意見としてお聞きする。</p>

<p>現在の水田小校舎を仮校舎ではなく今の校舎で工事中は済ますということだが、そうなるとコミセン関係は全部取り壊すことになるのではないか。今コミセンにいろんなものがあるが、全部一回取り壊すのか。</p>	<p>今回の提案では、いずれの段階かでは、コミセンの施設は解体する方向で行かざるを得ないだろうと思っている。その間どうするのかということについては競技団体としっかり協議をしながら、別の場所を利用できないかとか、場合によってはしばらく待っていただくとか、そこも含めて計画が決まれば具体的な話をしていこうということで団体とは今のところ話をしている状況。違うところに活動の拠点を設けられればそれでやっていただくということもあるだろうが、どうしても活動の場所をどこかに確保しないと活動が続けられないという場合は、先ほど跡地活用の中でも、コミセンの機能の一部をもってくるという話があったが、そういうことも含めて今後協議をしていくことになるだろうと思っている。</p>
<p>【意見】 工事中は代替地ということとはできないということか。跡地利用はその次の段階だから。</p>	
<p>ある保護者の方からなぜ下妻ではなくて水田に新設校ができるのかと聞かれた時に明確に返答することができなかった。説明できるような回答をお願いしたい。</p>	<p>今度の再編の学校は、今の水田小のスペースだけでは入らない。下妻小、古島小で再編の学校をつくらうとしても土地的に狭い。スクールバスが入り、停車するロータリーなどのスペースも必要となる。そういったこともあって、ある一定の市有地がとれる場所を提案させていただいた。一番は市の土地があるということで、新たな予算措置をしなくて土地を確保できることが大きい。</p>
<p>実際、その保護者と話していると、下妻の土地も結構広いのではないかという意見もある。話をしたのは2、3人いらっしやしたが、私は土地ではないかと言ったが、「えーっ」という反応だった。私も本当に返答に困った。それだけなのか。</p>	<p>いろいろあると思う。もうひとつ要素として申し上げると、下妻小に学校をつくと、スクールバスで水田校区の子ども達を乗せてくることになり、バスが何台いるのかという話にもなってくる。学校を運営、経営していく中で、スクールバスだけを見てもコスト的にかかりかかってくるのではないだろうか。そういったコストの面とか、場所の広さの面とかいろいろ考える中で、ちゃんと土地があって、決まればすぐにでも着手ができる場所が一番適当だろうという判断もあって水田小ということをお願いしているところ。</p>
<p>運動会の時など、親はどこに停めればいいのか。今水田の人は運動会の時などコミセンに停めて運動会などを見に行っている。下妻、古島が一緒になった時、そのスペースはどこかに確保しないといけない。親の行事参加などのことも考えて水田なら分かるが、そのあたりはどう考えているのか。</p>	<p>羽犬塚なども、運動会など学校行事があるときは駐車場が足りなくなっている。ただ、ずっと足りないかというところではない。イベントの時だけが足りなくなる。その場合は、例えば市役所であったり、羽犬塚小であったら羽犬塚中であったり、いろんなところの駐車場をその時だけお借りして利用していただいているところが多いと思う。水田についてもおそらくずっと不足する状態にはならないようにできていると思うが、ただイベントの時は確かに足りなくなる可能性はあると思う。そういった時は同じようにその時に場所をいくつか確保する形で、例えば農協の駐車場を借りるとか、筑中の駐車場を借りるとかいろんな形でやっていくことをお願いすることになると思っている。現在でも筑中の体育祭の時は民地を借りている。同じような形になると思う。</p>

小学校再編計画(案)説明会・質疑応答(概要)

○日時:令和元年12月9日(月)19:00~20:05

○場所:水田コミュニティセンター研修室

質問・意見等	筑後市からの回答
<p>この案は、ほぼ決定したものか。コミュニティセンターは全部解体するとか、文章を読むとそういうふうに見える。このコミセンを解体するとはどういう意味か。まず計画図案を、構想図でもいいから出してもらわないと、なかなか判断つかない。コミセンは遊んでいる訳ではない。皆さんそれぞれ有効活用している。言葉だけで来年から着工しますとか言われても困る。計画図はあるのか、無いのか。</p> <p>これだけのお金をかけてやるならば、だいたいこういうふうな事を考えているという構想図というのは普通どこでも出す。アバウトでもいいから、コミセンの用地をどう使うのかちゃんと出さないと、私達は分からない。水田に全然メリットがない。野球場もテニスコートも武道館も弓道場も誰も使わないで遊休化しているなら話は別。会議場だって耐震性がどうのこうので使えなくなった。物置になっている。みんな困っている。今までみたいに会議ができない。私達を説得しようと思うなら説得する材料を示してもらわないと、このままいいですよ、来年から着工してくださいとでも言えない。</p> <p>もう一つ。絶対言ってきてくれと言われたのが、市長の顔がまるっきり見えない。関心がないのかと。これだけ言ってきてくれと言われた。この小学校再編は不思議だ。結論ありきみたいな話ばかりされる。</p> <p>結論をだして、覆しができるのか。前に進んだものをバックする訳にはいかんという説明だった。図を見せていただければ、じゃあ私達もそれに、いやこういうふうにはできないかと言え。現在の小学校で南側に校舎を建てることできないか、そして建設中には運動場が使えないからコミセンのグラウンドを使えばいいじゃないかとかいろいろ案がある。小学校の機能を保ちながら、コミセンの機能をできるだけ落とさず、両方併用してやっていくようなことを地元としては考えなければいけない。だからどうしても構想図、イメージ図がいると言っている。どういう建て方がいいのかと。教育委員会から示されたことに対して地元では、意見を反映する場が無いと。私達はコミセンで今まで結構豊かにやってきた。でもこれが、全部とは言わないけれど潰れるということになるとどうなるのか。</p>	<p>決定ではない。案である。7月に再編案として3つを示し、この中から一つに絞らせていただくという説明をさせていただいて、地域の方々もその方向でいこうということ、今がある。今ご意見いただいたような話になると一昨年からの遡った話になって、地域の皆さんも一緒にいろいろ協力をしていただいたこと自体が後戻りしてしまう可能性があると思っています。今回は、絵図を出せというお話だが、やはり再編の枠が決まって、次の段階でお示したほうが正直かなという思いで、この説明会を2年間やらせていただいている。そこについては意見の相違があり議論をしても平行線かなと思う。そういうやり方ということでご理解いただいて次に進ませていただきたい。計画図については持ち合わせていない。具体的なレイアウトも含めてお示しするのは、やはり場所、枠組みが決定してからでないとなかなか難しいと思っています。ご理解いただきたい。</p> <p>コミセン機能をどう維持するのかということは、当然検討はしている。ただ今の段階でそれを具体的にお示しできない理由はいくつかある。最も大きいのは小学校再編で学校でなくなる土地が出てくるので、例えば、野球場の代替地として他の小学校の跡地を使うなど枠組みが決定していない段階で、何々小学校のところに野球場を作ると先に言うってしまったら、決定していないうちに何故そういうことを言うのかということになり、具体的なものは出しづらい。だから、まず枠組みを決めて、その後いろいろな検討をしていくということ。コミセン機能はどういう形かはいろいろあるだろうが、残していくように努力をしますよということを申し上げている訳で、具体的に出したくても出しづらいという事情はお察しいただければと思う。話がまとまりづらくなり、先に進められなくなるということを我々としては非常に危惧している。</p> <p>市長の姿が見えないという話があったが、再編後の跡地活用については、コミセン機能をどうするのかということも含めて市長とも協議をしている。いずれにせよ、枠組みが決まったあるいは決まりつつある段階で、跡地活用をどうするのか、コミセン機能をどう保障していくのかとするのかということについて市長が皆さんに説明する場は設けたいと考えている。</p>

<p>市長の件は、なぜかといったら市長とも話をしたいという気持ちがある。だからそういう話があるだろうと思う。</p> <p>もう一つ、なぜ学校とコミセンをどういうふうにしていったらいいのかということは、ご存じのように、今は災害ということも考えないといけない。災害の時に一番何が困るかと言ったら避難所と災害ごみが出る。私達も最近ずっと見てきているが、状況が、半端な話ではない。だからそういうことも考えておかないと、学校も大切だけれども、じゃあ今後大災害が起きた場合はまず復旧復興が第一。自分たちがやらなければいけない。そうしたら、じゃあ災害ゴミはどこに出すのか。もし仮設住宅をつくらなければいけない時どうするのか。そういったことを今後は考えなければいけない。だから言っている。分かっているのか。今全国的にそういうことは当たり前になってきている。</p>	<p>しっかり考えている。複合施設もしくは併設ということで今のことを含んだところで作っていかうと考えている。</p>
<p>水田小は統合しないと駄目なのか。生徒数が足りない訳ではないから、そのまま、建替えだけを希望する。</p>	<p>ご意見として伺う。ただ私達は古島小、下妻小、古川小、100名未満の学校を何とか解消して、例えば将来複式になるような学校をなくしていきたい。そしてある程度の規模の中で子ども達をずっと学ばせていきたいという思いの中で、今回再編を計画させていただいている。そういった中で、やっぱり水田校区のお力をいただかないとなかなか持続的な環境を整えることができないという中で今回提案させていただいているので、ご理解いただきたい。</p>
<p>【意見】納得できない。二川はそのままに置いて、水田にだけ集中されるのには納得できない。環境も変わってくる。学力も落ちてくる。今の環境がいい。そういう状態の中で再編は受け入れられないというのが私の意見。再編するならば、二川は残る訳だから、二川に入れてください。</p>	
<p>水田コミュニティ協議会としては、いろんな行事とか各行政区の区長が一生懸命になって盛り上がっている。場所が無くなったりして、活動が疎かにならないようにしてほしい。統合して工事に入っても、場所だけは絶対に確保してほしい。水田は小学校の体育館とか、いろんな施設を使っている。学校が建つ時に体育館が使えないなどならないようにしてほしい。コミュニティ協議会の中では特に水田と松原などが盛んになっている。学校が建つことによって弊害が起きるなら逆効果。教育の関係もやりにくくなることも一番いけないが、ただコミュニティ協議会として活動し易いような設備を、仮設でも良いが、とにかく使えるように。今日も武道館ということで、説明会に行ってくださいと言ったら、寒いといわれた。空調設備があるとやはりこういう話合いにも皆さん足を運ぶ。仮設はできた、エアコンはついていないと集まりも悪くなるから、冬とか夏は、暑い日や寒い日は集まらないので、そういうことにより疎かになるので、そこら辺だけは十分やってもらいたい。</p>	<p>思いはよく分かっているつもりだし、努力はしていきたい。地域の皆様からご意見をいただきながら、そこについては調整をしていきたい。よろしく願います。</p>



<p>私は、野町で国道より東側にいる。水田小から一番遠い。2kmは多分あると思う。そこまでバスが来るのか訊きたい。もう一つ、水田小のプールも建替えるのか。学童保育の建物も。児童が入りきれないということなので、あれも建替えるのか、建て増しするのか。そういうことも計画に入れるのか。</p>	<p>スクールバスについて、原則的な考え方でいくと対象ではないということになるが、あくまで原則なので、実態に応じて再編準備委員会の中で、詳細は地元の方の意見も聞かせていただいた上で決めていくことになる。多少の幅はあると思っている。プールについては、現時点で構想をきちんと持っている訳ではない。プールも古くはなっているが、必ず建替えなければいけないものでもないと思っている。ただ児童数が増えるので、今のプールの現状も踏まえ、やはり新設した方がいいという判断もあるかもしれない。計画が決まれば充分これから検討させていただきたい。</p> <p>学童も枠組みが決まった後にどういうふうにやっていくかということは協議していくことになる。基本的には学校施設の敷地内に、児童数も増えているので、そこも考慮しながら考えていきたい。</p>
<p>野町は歩いて来いということなので。歩道だが、水路の上で非常に歩きにくく、狭い。自転車が来たときは自転車が車道の方に避けてもらっている。野町は生徒数も多いので、みんなぞろぞろと行くが、危ない。野町は店のところから広くとってあるが、上北島のところは非常にせまい。今、通学路は四叉路のところから右に曲がって北の方に校門に入っていくが、正門に行くところは歩道が無くて歩いては通れない。特にコミュニティの前の水路の上の電柱が横にあって大型同士は離合できないような状況なので、あの通りだけはしっかり早く改良してほしい。</p>	<p>当然建替えるということになると、コミュニティセンターを部分的に使うが、市の土地なので退くことはできる。他も道が狭いということもあるので、極力通学路ということになれば広くということでも頑張っていく。ただ地権者の方もいるのでご協力いただかないとできないが、開校までには何とかできる限りやるつもりでいきたい。玄関が西向きになるということもあるので、どうなるか分からないが、とにかく必要な箇所は皆様とも、保護者の方、警察の方とも協議しないといけない。そういった協議をやりながら極力進めていけるところはやっていこうと思っている。</p>
<p>【意見】私は子どもの視点で。児童、水田小の校舎が今のところにある状態で、同じ教育環境で子ども達が勉強できている間に新校舎が建つというところにはすごくいいなと思って聞いていた。私は教員をしていて、古川小の校舎の改築の時に勤務していた。今の校舎は元の校舎があった場所に建ったので、プレハブで1年間を過ごしている。あの当時は吹きさらしの廊下で、寒くて市の関係の余っているストーブを全部かき集めた。暑い夏ともものすごく寒い中での、厳しい教育環境の中で過ごしていた。今回、古島や下妻については、小さい学校から来るというつらさはあると思うが、同じ環境の中で勉強を続けていける。水田小の場合も違うところに校舎が建つということは、子ども達はその間プレハブではない、いつもどおりの教育環境でできる。子どものことを考えた時には、そこがいいなと思って聞いていた。ただコミュニティの場所がなくなるということについては考慮しなければならぬが、子どもの教育環境という部分では、ずれたところに建つということは大切な事ではないかと思う。</p>	

<p>いろいろ問題点が出ているので、これをひとつひとつ潰していったら、どこまでできるのか、できないのかということもはっきりした上で再編を考えていただきたい。意見をお伺いしましたとか、検討しますとか、そういう話ではなく、ここはできます、ここはできませんと。じゃあ、それで再編建設はいいのかという、喧々諤々の下でやらないと、日程ありきとか、アンケートありきでは積み残しが出てくると思う。地域にせつかくいい学校ができたとしても、周りのいろいろな環境が整わず、みんなから不評を買うということにならないように、ひとつひとつ意見があった分に関しては、できるだけ、どこまでできるのかということをお示しいただいて、そして建設に入っていただきたい。</p>	<p>どの程度、今求められたことについてお答えできるか分かりませんが、基本的な考え方は一緒だろうと思っている。今水田小単独でというご意見も出たが、半分以上は水田小を充実させたいという思いの中の提案をさせていただいている。市の財政を集中して投資するためには、それぞれのところに負担をかけながらやっていくのが行政だろうと思っている。今回、下妻小、古島小と一緒にさせていただくというのは、市の財政、将来展望を考えてのこと。水田小の子ども達には、負担をかけないところでやっていく。今の学校の状況は水田小の子ども達には大変迷惑をかけている。それはとても申し訳ない。今までの行政の積み残しの中で今の水田小がある。この学校の改善を一刻も早くしたいという思いの中で、仰られるように若干焦っているところもある。後戻りはしたくないというのは、それが根っこにあっての提案をさせていただいているのでご理解、ご協力をいただきたい。</p>
<p>子ども達のことを考えてより良い校舎を建てていただきたい。ひとつお尋ねしたいのは、二川小が外れて一校になったこと、それと西牟田小の話が全然出てこないこと。これはどういうことなのか説明いただきたい。</p>	<p>今回3つの案を出させていただいた中には二川小単独、水洗小単独というのもあった。そうではない形として今回の案。水洗小と二川小については自然増ではなくて社会増、転入増加の可能性が出てきたというのが一番の理由。二川小は全部1クラスだが1年生だけ2クラスになっている。去年6校1校という提案をした時の私達の読みよりも、二川小の児童数が増えた。もうひとつは6校1校で850名と言っていたのが、900名近い数になった。市民の皆さんの賛成・反対両方から大きすぎるという意見をたくさんいただいていた。なので、今回こういう提案をさせていただき、二川小については今後どんな可能性があるのかということを少し見極めたいという思いの中で今のまま現状で残させていただいた。</p> <p>今回は筑後中学校区でということで提案をさせていただいた。西牟田小・松原小・北小といったところについては、時間が経って子ども達の状況が変われば、構想を再考しなければいけないと思っている。ただ今回はさっきも申したように、水田小の校舎を何とか集中してやっていきたいという思いの中で今回2つの学校に来ていただいたほうがより充実するということでの提案をしている。</p>

小学校再編計画(案)説明会・質疑応答(概要)

○日時:令和元年12月10日(火)19:00～

○場所:古川ふれあいいきいき館

質問・意見等	筑後市からの回答
<p>何故水洗小だけが改修になっているのか。水洗小学校は浸水する恐れがある地域なので、そういう場所に、わざわざ古い水洗小学校を改修してまでそこに留まらざるを得ないのかを詳しく説明していただきたい。</p>	<p>改修としている理由は水洗小に古川小の児童が入ったとしても教室を工夫すれば今の施設は十分使えるという判断をさせていただいているのが主な理由。浸水地域であるというご指摘については確かに浸水地域ということになっている。ただ古川校区と水洗校区で浸水地域に違いがあるかという、基本的な違いはない。この地帯はほぼ浸水地域になるので、そのことでどちらかに持って行った方がいいというような判断はなかなか難しい。私共としては水洗小の施設が使えるということであれば、施設の改修することで新しい小学校に対応していきたい。</p>
<p>水洗校区の水没の可能性をお聞きしたが、恋ぼたるの施設が2回も完全に水没した。たまたま水洗小が2回の水害で浸かってないかもしれないが、その時でも古川小の敷地は全然浸かってない。そういう観点から、水位があと1m上がった時、もしくは堤防が決壊したとき、堤防はどこが決壊するか分からないが、水洗小はより危険性が高いと古川校区の者は皆見ている可能性が強い。市としては本当に水害等の災害がどちらも同じような危険性があると判断しているのか。優位性をどちらに持ってくるのか。それは子ども達のためにちょっとでも水害の恐れがあれば、そこは避けるべきではないか。</p>	<p>浸水の状況は、大きいのが2回来た。1回目の時は水洗小も古川小もほぼ変わらない状況になったと思っている。古川小もあと少しで体育館が床上に浸水しそうになったので、教室にガラスを割ってでも入ろうかという状況になったと記憶している。水洗小も同じようかなり水位が上がってぎりぎりのところで何とか持ちこたえたという状況だった。2回目については、この間の8月の終わりだったが、古川小も大丈夫だったし、水洗小も大丈夫だったと思っている。そういった過去の状況から見てもあまり変わらないという判断をしている。全体的にやはり古川校区、水洗校区は浸水地域にあたるので、なかなか、どちらがいいのかというのは決められない。災害時の避難を考えた時は、この地域にある学校については、やはり垂直避難をやっていくような形でいかないとなかなか難しいと判断をしている。</p>
<p>筑後市のハザードマップを見てみると洪水時家屋倒壊等氾濫想定区域に水洗小は入っている。そこまでの道も50cm以上冠水することがはっきり筑後市のハザードマップに載っているのに、そこを小学校にするということは後で笑われるんじゃないか。初めから分かっているところに作るということはおかしいのではないかと思う。水洗小、古川小どちらかという考えではなく、距離からいっても古川校区、水洗校区のほぼ真ん中にした方がよくないか。久恵のちょっと上の辺りが全体から一番近い距離。なおかつハザードマップでは安全な地域になる。それを考えると水洗小に何故するのか不思議だ。ハザードマップで指定してるところに建てるというのはおかしくないか。避難できないところに作ってもしょうがない。</p> <p>もうひとつは均衡ある発展が必要だ。水洗校区の船小屋から向こうの方は新幹線があるし、これから人口も増えてくるだろう。そういうところを考えると古川は小学校が無くなったら誰も住まなくなってくる。疲弊してくる。ただ教育だけじゃなく、やはり均衡に発展する、全体のことを考えてすべきではないか。</p>	<p>今、学校がある状況の中で、そこに持っていくという提案。浸水地域を選んでそこに持っていく発想とは違う。仰られることは十分理解する。今後については、十分協議を進めさせていただきたいという一文を加えさせていただいて今日に臨んでいるので、今いただいたご意見も今後一緒に検討させていただければと思っている。</p> <p>昭和60年末くらいに古島と二川と下妻の再編の話がでたが、地域のアンケートが行われ成り立たなかった。そして3校とも今の校舎がその時期に建っている。その後、学校が残った時代がずっとあって発展してきたのかということ、今の現状になっている。今仰っていただいたことも十分理解するが、活力ある学校をきちんと作った方がその広いエリアの地域の活力が出てくるんじゃないかという思いの中で今回提案させていただいている。古島小も下妻小も同じだが、地域から学校がなくなることについては心苦しいところもある。しかし、市の全体のことを考えた時には、何かの痛みを伴いながら進めていく必要があるのかなということでも今回の提案をさせていただいている。なかなか一気にご理解いただき、よし分かったとはならないだろうと思うので、そういったことを含めながら、今後協議をさせていただけたらと思っている。</p>

<p>まちづくりが先だと思う。筑後市をずっと見てみると北の方には八女城島線という大きな道がある。442のバイパスがある。442がある。ただ水洗小と古川小を通すこの道は県道から市道になったところがある。道路の再編がないことには地域の発展はあり得ないと思う。道路があったから北の方は発展したと思う。そこらへんが一番取り残されている面ではないか。基本的には産業振興も子供が生まれる環境もやっぱり道があつてこそと思う。そこを積み残したら大きな禍根を残すことになる。是非そこは織り込んで欲しい。</p>	<p>地域づくりを優先にということだがこれに限らず、多面的にいろんな問題があるだろう。いろんな問題を一辺にここに挙げて議論をしていくということになると、何のために、誰のために学校規模の適正化をしようとしているのかという本筋の部分が見えなくなってくるのではないかと心配をしている。そういうこともあるので、まずは学校再編、枠組み、位置の問題を決めさせていただいて、それに伴って出てくる課題について、その時点でしっかり協議をさせていただきたい。</p>
<p>今回水洗と古川2校の再編ということだが、今の案というのはあくまで水洗を改修するということが、古川を改修するという案もあるのではないかと思う。同じような条件で、コストはどちらが安い、グラウンドはどちらが広い、ということになると古川小の方がうんと使い勝手がいいのではないか。そして跡地については売却が基本ということなので、水洗小は、高く売れ、前が広域公園で発展するのではないかと思う。古川小は田舎という例えが悪いが、バスが来て広い。ゆっくり教育もできるのではないか。水洗小を改修して古川が行く場合は、古川にとっては何のメリットもない。例えばどちらが得したかという水洗は100であつて、古川は0だ。これでは折衷案にはならない。やはり、コストも念頭において両方とも納得するようなところを考えていただきたい。</p>	<p>そのご意見は前回も今回もいただいているが、水洗校区の人達はどうかという部分についてはまだお聞きできていない。何よりも今回は、古川小と水洗小と一緒にして新設校を作って場所は水洗小の敷地内という案に絞ったということで説明をしてくれているので、今の段階でそうですねとはなりづらい。是非、もうしばらく皆さま方と話し合いをさせていただきたい。当然水洗校区の皆様とも話し合いをしながら、方向性ができるように考えさせていただきたい。そういうことで、今回ただし書きを付けて案としているのでご理解いただきたい。</p>
<p>ただし書きの問題だが、結局それは古川校区の人達にとって期待が持てるものなのか。いろんな意見が出た。私も場所は問題があると思っている。水に浸かることが予想されるならば、むしろ鶴田とか高くなっているからそこらへんに新しく作ってもいいのではないか。そういう意見がいっぱいだと思う。そういう皆さま方の意見を踏まえて検討していくことならば、どこに着地点があるのかと思う。</p>	<p>冒頭ごあいさつでも、この時点で即答できないこともあると申し上げたが、まさに今仰っていただいたことが私どもの中でもぶれている。ただ提案としてはこの形で提案しているので、そこについてのご要望はしっかり受け止めたい。実は明日が水洗校区の説明会。2つの学校を1つにするという提案なので両方の納得が得られないと前に進めないだろう。そういう中で、今後進めていきたいということでしたし書きを書かせていただいたので、期待していただいても言えないし、全くそうではないということも今の時点では悩ましいという思いで、提案をさせていただいている。</p>
<p>そういわれると、私達地元民も悩ましい。</p>	<p>いろんな意見がある中で、そういう状況の中で、水洗小に作りますというようなことはしませんということは約束する。</p>
<p>水洗小は災害予測地域に入っている。あまり変わらないということだが、古川小は少しはずれている。どちらかと言うと洪水時は古川小の方がまだまし。なんでそういうところに、最初から水洗ありきみたいな話がある気がする。どうしてああいう狭いところで。私が古川だから言っているのではなく、冷静に考えたらおかしい。水洗は入るところも狭い玄関。バスでいけるだろうかと思うくらい。危ないと思う。後で禍根を残す。もう少し全体をみて考えていただきたい。風水害いろいろ発生しているが、各地域の小学校などは地域住民の避難場所に指定されている。災害マップに指定されているような場所で、地域住民が行けませんでした時は市としてどう考えるのか。</p>	<p>水洗小にせよ古川小にせよ、体育館を指定避難所ということで指定をしている。指定避難所を開設する時というのは、結構ひどい災害の時に指定するというふうになっている。確かに仰るように浸水地域の避難所というのが実はいくつもある。そのところは、早め早めに避難勧告なり避難指示を出して、例えば一番近い所でいくと福祉センターだし、もっと安全なところで行くと、少し高台にあるサザンクスとかそういったところに早めに逃げさせていただく。それでも逃げ遅れた時には垂直避難ということで、高いところ高いところに逃げてもらうとしかないといいのが実状。</p>

<p>【意見】今、避難ということだが、水洗小の前は道路が冠水してしまっているから、避難できない。そこを避難する場所に指定するというのはおかしいと思う。地域的にいえば、本当を言えば古川小、水洗小ではなく、古川校区、水洗校区の真ん中あたりにした方が一番いいと思うが、それはお金もかかるし、それは避けたいということだろうと思う。しかし、予算面から考えれば水洗小というのは、すぐ売れる地域ではある。土地が広くて、これから大きくなったとしても対応できる小学校、そして避難所に指定してもどこからでも来れるような場所が必要ではないか。再編の目的はいろんな学校が一つになって人数を多くして教育レベルを上げるということだが、それであればわざわざ小さいところにするのではなく、大きなところで、水洗小と古川小が一緒になれば、人数が増えるわけだから、当然教育レベルは上がってくると思う。水洗校区の人にここは水没しますけどここでいいですかとは言えないと思うが、市がハザードマップをそういうふうに作っているということは市も認めていると思う。</p>	
<p>私は一番下の子が、学校が合併した時に通うことになる。気になるのが水洗小での説明でも学校が狭いのではないかという意見が出ていると思う。私は他所から来ている者なので、田舎と言うと怒られるかもしれないが、この田舎の雰囲気が好きで、広々としていて、そんな中で子どもを育てたいと思って来たのだが、そうした時に子どもをわざわざ狭い学校にやりたくないなというのがある。いざ子どもが通うことになった時に、見込みではこの人数になっているが、船小屋地区に関しては、市としても発展させていきたいと考えているとするなら、水洗小で適正な人数で学校が入れるのかなと。水洗でも話が上がっている以上、気になるところ。今計画で出されている人数だと大丈夫ということで良いか。水洗の方が気にするくらいだからよっぽど狭いのかなと思った。</p>	<p>校地が狭いという考え方があるが、校舎そのものもともと2つの学級があった学校。今は減ってきて1クラスの学年とか出ている。古川小の子ども達が行ったとしても校舎の枠組みそのものは変えなくていいので、合理的な改修ができるという思いもあつての提案。確かに古川小の方が校地は広さがあるが、子どもの生活スペースとしては十分可能という発想で提案させていただいている。</p>
<p>私も他所から来たので地域のことは分からないことが多い。校舎が大きいとか小さいとか、校庭が大きいとか小さいとかあると思うが、なぜここまで水洗小を推しているのか、メリットの部分を市の方で考えていると思うので、そこを聞かせてほしい。そこから私達としては、古川はこういういいところがある、水洗はこういういいところがある、というところが今の状態ではフワフワして、「水洗が」、「水洗が」と言われるだけなので、水洗を推すいいところを聞かせてほしい。</p>	<p>学校教育活動の中で一番時間を使うのは、校舎の中ということになると思う。今の校舎の枠組みのまま十分使えるのは、水洗小の方が優位かなと思っている。古川小は1学年1クラスの設定でできているので、2クラス分もってこようとしても無理だと思う。水洗小の方が2クラスの設定の状況がきちんとあるので、枠組みは残すが、全体的にはかなり改修をすることになると思うが、それにより対応が十分できるんじゃないかと判断の中で水洗小の方がいいんじゃないかという判断をしている。</p>
<p>新築年月日は。</p>	<p>建築年は古川が昭和62年。水洗が昭和56年。古川小に水洗小の子どもが全部入るかというに入らない。</p>
<p>10学級は多分あると思う。</p>	<p>10学級プラス他にないといけない。特別教室も必要。普通教室、特別教室要るので入らないということで、判断している。</p>

<p>昭和62年に古川小を開設した時は、2クラスあったはず。それに特別教室があったはず。</p>	<p>通常学級の数を令和7年で10学級と書いているが、それ以外の学級がそれぞれの学校に必要。今も古川小には3クラス特別支援学級と通級のこぼの教室が2クラス分、もちろんそれ以外の教室も特別教室としてあるので、今のパイの中にそのまま2つの学校でスタートするという事は困難だという判断の中で今回提案させていただいている。</p>
<p>市は、お金がないから、水洗の方にしていると言わないといけない。良い所に、新しいのを建てればいいじゃないか。だが、お金がないからあそこをそのまま使って、補修をしましょうということか。</p>	<p>大きな理由のひとつ。</p>
<p>【意見】 お金があるなら、建てればいいこと。水洗小を売るなら売れると思う。古川の間ではなくて、水洗地域の少し古川よりに建ててもいいじゃないか。久恵などはあんまり遠すぎるので。新しいものを水洗の近いところに建てればいいじゃないか。お金がないからこうなってます、と言えればいいじゃないか。</p>	
<p>水洗小は改修した後、何年使えるのか。あと残りの下妻、古島、水田は新築で何十年いけると思うが、同じくらいいけるのか。古くなったからまた建て直すとかならないのか。</p>	<p>校舎をどれだけ使うのかというのは、文科省の考え方があって、20年毎に手を入れていくという考え方。新築をして20年したら改修をして、その20年後に長寿命化という大きな改修をやって、また20年後に改修をして、次は新築。80年間は持たせることができるというのが、スタンダードな考え方になっているので、水洗小に手を入れて、そのように進んでいけば40年ぐらいは使えるのではないかと期待をしている。</p>
<p>今、改修という話がでたが、改修する度に仮校舎を作るのか。改修しながら子ども達に勉強させるというのはものすごく危険だと思う。改修するのに1年2年で終わらなくて、大改修ということは3、4年かかるようなケースも出てくる。そういうときには仮校舎でするのか。もし仮校舎でするのであれば、場所は別にしても、水洗小であれば水害地域にもなっているので、かさ上げしてでも新たに作ったほうが子ども達のためにはいいし、地域住民の避難場所としても有効活用できるのではないかと。我々古川校区の者から見れば、小学校の床面積は古川小の方が広いのではないかと思うし、元々古川小は小中あったので面積は広い。改修するときには仮校舎を作るとか、その場のぎの形でするのであれば、お金が無いとはいえ、子ども達に迷惑をかける。そのあたりは本当に検討しているのかと思う。</p>	<p>水洗小を改修の時に仮校舎を建てるかという話だが、仮校舎を建てるという想定はしていない。使いながら改修をするというやり方があると思っている。松原小で改修をやった時には仮校舎を建てずに使いながらやったという実績があるので、そのように考えているところ。</p> <p>&lt;参考 延床面積&gt;  水洗小学校 2,988㎡  古川小学校 2,670㎡</p>

<p>図を見ると、新設校は西に寄り過ぎている。全体のことを考えると真ん中に近い方がいい。</p> <p>古川小をやめて、水洗小でやる場合には、とっかかりは改修だけでいいから、いいかもしれないが、古川小の場所はどういう使い方があるのか。多分お金にならないと思う。すぐ売れるのは水洗小の方が早く資金になるし、そのお金で古川小に足りない分があれば建てればいい。これは市長の政治判断でもらいたい。船小屋地区は新幹線もあるし、多分人口は増えてくる。そうなるとこの狭い所では足りなくなる。40年は持つだろうという話だが、40年の間に入れなくなるのではないかという予測もたつ。40年どんなビジョンを描いてやっているのか。</p>	<p>去年提案をさせていただいた6校1校が、全部をまとめて大きな学校をつくれれば、どこが発展してもキャパ的には可能という構想。でも、進めてほしいという人も反対の人も一挙にはという懸念、心配があった。なので、今回この3校の再編計画ということでいかせていただいた。今仰っていただいたように新幹線船小屋駅の周辺が広がってきて、新しい学校に子ども達が入りきれないと、それはとてもうれしい展望。そういう状況になれば、新たな展望を持ってもいいんじゃないかなと思っている。そういうことを考えた時に今回新築に踏み切れていないということもある。</p> <p>跡地の活用の関係、人口の関係だが、確かにもし空き地になったとしたら、水洗小の方が簡単に高く売れるのは間違いないと思う。ただ企業をもし誘致するというと、可能性があるのは古川の方かなと思っている。いずれにせよ跡地をどういうふうな活用するのかというのは、まずはコミセンの機能の代替地としての活用が第一だろうし、地域の皆さん方からのご意見も賜りながら実現可能なことで適切な選択をしていきたい。そこについては市長の判断になってくるので、いずれ枠組みが決まれば市長がみなさんに基本的な方針を申し述べることになるだろう</p> <p>人口問題だが、船小屋駅周辺は、市内ではポテンシャルが今から上がる可能性が高い地域であるのは間違いないと思う。ただ、我々人口問題を研究もしているが、全国的な状況を見ると恐ろしい状況に立ち至っている。負の連鎖というか、少子化の連鎖で、筑後市でも生まれる子どもの数は毎年のように減少している。筑後市はどちらかと言うと県南地方では唯一人口が横ばいもしくは増えているような地域。周辺の市町から転入を筑後市に勝ち取っているという形で維持または増加している状況。それがいつまでも続くとは思えない。もし船小屋駅周辺に人口がもっと増えていくということになれば、それはうれしい誤算だろうというふうに思う。行政としては、増えることを想定して進めにくい状況にあると言える。</p>
<p>【意見】 住民のニーズから考えても、最大公約数的に言っても、場所は、はっきり言って、大藪セメント北側あたりではないか。あそこは基盤整備しているが、知事の土地収用法の発動があればできる。あそこが一番いいと思う。</p>	
<p>【意見】 満足度だけで考えていただきたいのは、今の案は古川0、水洗100だ。あくまでも2校の合併となるとある程度7:3くらいにはしていたかないと、古川校区の住民の方は納得しないと思う。</p>	

夏の水洗小の説明会に出席した。さすがに水洗の方も、うちは水没するか、浸水するかという話はできないから、一番懸念されていたのは手狭である。敷地面積は確かに市内11小学校で下妻よりも狭くて、一番狭い。グラウンドとか体育館とかやっぱり何とかしてください。そして、改修ですか。改修の程度についても懸念をされていたと思う。それぞれのメリット・デメリットの話が今日あった。実際この案で統合したとしたら、水洗のメリットは全学年ではないが、複数のクラスがクラス替えができるということだけ。一方の古川は小学校が無くなる。そして通学距離も長くなる。209号線を横断して小学校に通う。もちろん一部はスクールバスと言うことでしょけど。メリットがない。要は統合、再編というのはその地域の方々にとって、将来・未来を展望できる、明るくなるなどと言えるような再編・統合であってほしい。私の経験上、旧水田、旧古川が合併をして新築後中学校ができた。私は中学2年から2年間新校舎で学んだ。非常に展望があった。勉強を頑張ろうという気持ちがあつた。今回この再編については展望を感じない。そこで拙速することなく、もちろん水洗の方々のご意見もしっかり聴かれて、それぞれの合意を得て、先に進めていただきたい。

今、折り合いを付けて進めるということについては非常に大事なんだということだった。先ほどから鶴田の方、新溝の方、多分PTAの方だと思うが、ゆっくりした所で子どもを育てたいという思いを、これは本当に親の気持ちだろうと思う。教室の数とかそういった問題ではなくて、周りの環境も含めてゆっくり育てたいという思いだろうと思う。

今回のただし書きは非常に重たいというふうに私は思っている。このただし書きの重みをよく理解されて、会議を何回か重ねて、はい重ねましたということではなく、水洗校区、古川校区の意見をまさしく折り合いを付けていっていただきたい。特に子どもさんをお持ちの親御さんの気持ちを重点的に考えていっていただきたい。ただ、具体的に今後どんなふうを考えてあるのかというのは、まだ見えない。多分まだ市の方も、どう進めますということはこの場では申されないと思うので、特に議会も含めて十分協議をされて地元の方と協議を進めていっていただきたい。

まちづくりの話もでた。学校再編の話だが、まちづくりとの関係の話もかなり出ている。そういった中では、広域公園は南筑橋まで、計画上だが、ある訳で、そういったものも含めて将来的にどうなっていくのかということ市の方としては十分検討をしていたいただきたい。

このただし書きの重さは十分認識されていると思うが、我々も含めて今後協議を重ねていただきたいということを要望として申し上げておく。

そういうことも含めて引き続き協議をさせていただくというスタンスにたっているので拙速に進めるということはない。

ただ一点だけ、子ども達にとって展望がないという話だが、これは両方の小学校の子ども達にとってメリットになるというスタンスの下に提案をさせていただいている。もちろん大規模校・小規模校・中規模校、それぞれの教育活動が充実している。今日あえて冒頭で申し上げたが、8人の小学校4年生のクラスが南筑後ブロックのチャンピオンになった。8人でもやれるんだということを古川小学校はやってもらっている。そういう価値も当然認めている。ただ、学級活動で、今、子ども達に力として求めているのは、折り合いを付けて進んでいくということ。それはいろんな意見が出るある程度の児童数が必要だろうと思っている。そういった点で今回提案させていただいているので、一切メリットがないような言い方をされると非常に残念だなという思いがする。

私共も、重たいという思いは持って提案させていただいているので、そのことは信頼していただきたいと思っている。今後いろいろご協議の場を持たせていただくことになると思う。そういった中でご協力をいただければと思っている。



小学校再編計画(案)説明会・質疑応答(概要)

○日時: 令和元年12月11日(水)19:00～

○場所: 志公民館

質問・意見等	筑後市からの回答
<p>説明の内容は、水洗校区にとっては古川との新設校、合併ということ。ただし、その中でただし書きが、ちょっと問題になると感じている。水洗小の施設の改修をこのただし書きで打ち消したともとれるような内容になっていると感じた。当初7月23日の説明の中であったのは、水洗小については、A、Bは単独でいくと、C案については現水洗小の敷地の中で校舎を改修して古川小と合併する案ということで説明があった。ただし書きについては、一切説明はあってない。この時の説明会では水洗小側の保護者の要求具合とか位置の問題、規模の問題、コストの問題などを客観的に検討してこの案が一番いいだろうということでA、B、C案ということで説明されたのだろうと思う。そういった総合的な判断の中で、水洗小は古川小と合併になってもこの位置ということで、皆さん納得したと思う。もちろん合併に異議のある方もいるかもしれないが、もし合併になったとしても水洗小の位置は変わらないと感じて説明会が終わったという感じになっている。今回の案を見ると、ただし、ということで、位置については新たな案が付け加えられ、D案を新たに持ってきたような感覚になる。また振り出しに戻ったような案になっているのではないかと思う。最初に十分に練った案を通してもらった方が混乱を避けられるのではないかと思っている。ただし書きをしたということは、どういった形で進めるのか。十分協議するとなっているが、私は、なかなか難しい問題で、簡単にはいかないのかなという感じがしているので、そのあたりをお聞きしたい。私は当初提案通り進めた方がスムーズにいくのではないかと思う。</p>	<p>経過としては7月23日、3案で説明をさせていただいた。その3案に様々なご意見をいただいた。私達としては、3案の中でC案を計画案としたけれど、まだ課題が残っているという思いを持ってこのC案を提案させていただいている。今日の時点でこの案が確定ではない。</p> <p>昨日は古川校区でも様々なご意見をいただき、本日は水洗校区の皆さんのご意見もいただいて、また、その中で判断をして、どういう進め方がいいのかということも今後に向けて検討していきたいと思っているので、ご意見を頂戴できればと思っている。</p>
<p>ただし書きがついてきた。書くとしたら、古川校区の方から意見がでた、という書き方じゃないと、水洗校区は、位置はどこでもいいと言っているように見える。書き方がまずいと思う。あくまでも古川校区の方、ということだと思う。古川校区と水洗校区全部がそう言っていると聞こえる。</p>	<p>7月23日の水洗校区の説明会で、C案への不安として水洗小敷地の狭さを懸念する声があった。地元であっても、そういうご意見もあった。ほぼ古川校区の皆さんのご意見だが、ご意見いただいたので、最終案を示す時には検討したい。</p>

<p>期待される効果がいろいろ書いてあるが、前回の説明会で切磋琢磨という言葉が言われた。この言葉に私はずっと引っかかっている。今回期待される効果とあるが、メリットがあればデメリットもある。組織というところは自分の見せたくないところは見せない。そういう意見もあるのだったら、聞きたい。進んでいる話なので、それをどうのこうのではないが。</p> <p>期待され効果の逆の心配されることも書いていただきたい。</p> <p>期待され効果に書いてあることは教育目標をどう設定するかで変わってくると思う。統廃合しなくても、こういうことはできると思う。特に気になったのは教育レベルの向上というところ。本当にそうなのか。複数クラスあるのは筑後、羽犬塚、松原など。1クラスしかないのは、水洗、古川、下妻、古島など。この先生達の指導力量が劣るのか。</p> <p>2クラス以上ある学校の先生は力があるということか。</p>	<p>2クラス以上ある学校の方が安定するという。2人の先生がいれば、話し合いができて、指導方法を確認したりすることができるということを書いている。一人ひとりの能力があるとか、ないとかということを書いている訳ではない。小さな学校には小さな学校の良さがあるということは、これまで一貫して言ってきた。それぞれの学校で充実した教育活動ができている。ただ、ここで申し上げているのは、一定子どもの数というのは必要ではないかということを上げている。心配されることとして、いじめの問題がこの校区でも一番出た。極端に言えば、何人が集まれば、いじめはどこでも起きるとするのが前提だろうと思う。100人でも起こる。10人でも起こる。頻度は100人の方が多いかもかもしれないが、1人の子どもに対する頻度は変わらないだろうという前提で考えている。抑止力というのは、やっぱり子どもの目、私も含めて大人の目ではなかなか見つけることができないというのが、いつも思っていること。子どもは大人に見えないようにやる。そういったことを止めるのは、子どもの正常な目線であり、仲間であったりする。多くの目があった方が子ども達の抑止力は働くという思いの中で今回提案させていただいている。メリット・デメリット両方とも前回の資料にも書いていた。そういったことは全部認めながらも、やった方がいいのではないかとこの提案。もちろん学校としての、市としてのコストも踏まえての計画であることは間違いない。</p>
<p>スクールバスについて。新学校から直線で2kmを超える地域がスクールバスを利用する対象児童になるということだが、まだ協議の段階なのか、決まっていることになるのかがまだはっきりしない。中学校は、現状1.3km以上が自転車通学が許可されている。小学生も例えば、1.6kmでもスクールバスでいいのではないか。</p>	<p>どもも今のご意見は出るが、中学校、小学校の議論はちょっと違うのかなと思う。小学生が自転車という方策はなく、中学生は部活動とか練習試合に行くとかということを考えて自転車で来た方が時間が短縮できるという考え方。小学校と比べてどうなのかというと、羽犬塚中学校と羽犬塚小学校を考えたら、中学校の生徒は自転車。兄弟で小学生は歩いて行くというのは実際あると思う。2kmで切っているのは、今の子ども達の徒歩の最長距離の中で話を進めさせていただきたいという提案。2km云々というのはそこそこの実状があるので、どんな切り方をするのかというのは再編準備委員会の中で検討していただければと思っている。</p>
<p>10月21日に市議会の全員協議会の方に示したということだが、それをもってのことだと思うが、他校区のある市議が「水田・古島・下妻の新設、新築は6年後の令和7年4月に決定しました。そして水洗・古川校区は今後も協議をすることになります。」というSNSを使ってあげた。今日も書かれている文字だけを読んだら、決まってしまうことなのかと思うところと、いや実際はまだこれから協議をしないとイケないという回答があったりして、どの部分は決まっていたどの部分が今からなのか、その辺が分からない。</p>	<p>表紙にあるように再編計画(案)ということで、まだ決まってわけではない。この方向で進めていきたいということで説明会をさせていただいて、ご意見をいただいたので、ここに修正が入るかもしれない。それを、また全員協議会で示させていただいて、決定させていただきたい。</p>
<p>水田・下妻・古島自体も決定ではないのか。</p>	<p>まだだ。</p>

<p>水洗小保護者などは県南公園を駐車場として使っているのだが、新設してもそこを使う予定か。</p>	<p>いろんなイベントがあつたり、学校行事があつたりする時には駐車場が足りなくなる。より遠くから保護者の方もお見えになることになるだろうから、引き続き広域公園を使うことをお願いをすることになってくと思う。</p>
<p>学校の行事は、公園でイベントとかがある日と重ならないように考えてほしいといけないのか。</p>	<p>そういったことも考えて、やっていただくことになるだろう。</p>
<p>プールを今年から県営プールを使っているが、今現にあるプールは、再編された時に使う予定はないのか。</p>	<p>まだ、案なので決定をしていない。枠組みと位置が決まれば、そういう議論も始められると思うのだが、今の段階ではどうするという具体的な考えを持っている訳ではない。</p>
<p>今のプールの土地とかで、使える広さがだいぶ変わってくると思うので、そのあたりの考慮をお願いします。</p>	<p>少なくとも今のプールは使わないと思う。基本的に機能がアウトになっているので、今県営プールを使わせてもらっている。古川小が来たときの規模を考えた時にどうなのかということは再検討が必要かもしれないが、今のプールを継続して使うということは考えていない。</p>
<p>【意見】総枠としては、このC案でいいのではないかなと思ってた。困ったなというのが古川からの意見。これは慎重に大事にしないといけないだろうと思う。</p> <p>意見を二つ述べたい。今の教育の課題は、学校ではなくて家庭であるとか地域であると思う。家庭、地域が悪いということではなくて、今日の社会形態が変わってきた。家庭や地域をどうするかが今日最大の課題だろう。それを元に戻す訳にはいかないの、文科省が今言っているのがコミュニティスクールではないのかなと思う。これによって家庭なり、地域をしっかりと。家庭や地域でできていた教育をできなくなってきたのではないか。そのために学校がパンクしてきているのではないかと思う。再編と同時にそこらへんをしっかりと作り上げていただきたい。</p> <p>もう一点。昭和29年、筑後市が市制施行した。その頃古川中学校と水洗が合併という話がでたと記憶している。ところが、大人も子どもも陰湿な嫌だなという空気が流れたのを記憶している。これは立ち消えになった。何故この時に嫌な空気、溝があつたのかというのは、村が違っていたから。古川村と、水洗は水田村だから。嫌あそことはなりたくないという空気が流れた。そこに陰湿性がある。溝がある。大字尾島とか志というのは昔の村。そこにはやはりいい意味、悪い意味の溝がある。そこが今度の再編によって、「校区の広がり、子ども達が学ぶ地域の歴史や伝統文化の広がりとなり、子ども達の視野の広がりや人間関係の広がりにつながる」ということを実践してもらいたい。そういうことによっていろんな偏見や差別が無くなるのではないかな。そういうことも含めて再編するんですよということがあるべきではないか。施設面、ハード面の合併も必要だろうが、教育ということだから、この二点を意見として述べさせてもらった。</p>	

<p>最後にただし書きがついているが、今後の時期的な流れがどうなるのか。というのも令和7年に新しい学校ができるということになると令和2年から6年まで4年しかないのでは話がどういうふうに進められるのか。</p>	<p>古川校区から場所についてはいろいろと異論がある。古川校区はもうしばらく意見をいただきながら、我々もそれを検討する中で、どうしても水洗校区の敷地内で再編が難しいという古川校区の総意があれば、それを持って水洗校区の皆さん方と話をさせていただかねばならないと思う。それをすり合わせしながら、合意に達することができればと思っている。水田、下妻、古島の新設校についてはすぐにも、新築なので着手しないと難しいが、水洗、古川については整備方法は改修としている。新築に比べて短時間で対応はできるだろうということがあるのでその時間を使って、もう少し水洗校区、古川校区の皆様と話し合いをさせていただきたいという思いで、ただし書きをいれているとご理解いただきたい。</p> <p>もし、こちらも新築で、場所も変えてということならば、正直令和7年4月を目指すというのが揺らぐという心配もある。</p>
<p>私は7月の説明会でC案に賛成と言っていたが、これは今も変わっていない。現水洗小を改修するという案に賛成をしているので、是非、今後も考えていただきたい。その結果、例えば古川校区も反対、水洗校区も反対となった場合、合意をみななかった場合、どうなるものなのか。極端な質問だが。</p>	<p>そうならないように頑張りたいとしか言えない。</p>
<p>これを正式に進めるためには、(案)を取らないといけないうことだろう。それについては議会の承認があるだろうと思う。水田・下妻・古島は急がないといけないうことだが、こちらは場所の問題もある。(案)をとる場合は一緒にかけるのか、それともこちらはそういったことが整うまで協議をして、それから進めるということで、議会の方で議決を求めめるのか。そこら付近をお聞きしたい。できれば慎重にやってもらいたいというのが前提なので。</p> <p>水洗小の敷地の広さの問題で、前回7月の時に地元から狭いのではないかと懸念の質問があったということだったが、それは、せつかく合併するならばプールとの間とかを拡げた方がもっと良い環境になるのではないかと趣旨の意見ではなかったかと思う。狭いから懸念であるということではなかったと私は解釈している。</p>	<p>学校の統廃合の決定権は実は教育委員会。決定したものを進める時、予算を立てる。予算の可否は、議会の皆さんが決定権を持っているので、そこがOKにならないと令和2年度から進めることはできなくなる。今週土曜に古島校区の説明会をやるが、それで一旦この説明会を終了する。今もさまざまなご意見をいただいているので、それを持ち帰って、内部で検討して、その方針を、また全員協議会で説明する。全員協議会に決定権はないが、議員の皆様のご意見をいただいて、そしてまた修正をする。</p> <p>現時点で分けて提案することは考えていない。ただし書きをつけたままの形でいくしかないと思っている。議会の方で分けるようにといったご意見が出れば、また考えなければいけないが、今の時点では基本的にはこの案でいきたいと思っているので、ご意見いただきながら調整をしたい。案の中にただし書きを含んだところで進めていきたい。そこについては「先行して進めます」ということを書かせてもらっている。その思いを汲んでいただきたい。ただし書きのところは、残して、協議を続けていきたい。</p>
<p>【意見】ここに見えている地元の方に確認したいが、水洗校区としては最初の提案どおり、この地域で進めてもらいたいと思っているんですね。そういうことで進めてもらわないと困るんですよ。ということを確認したいと思う。</p>	
<p>【意見】ただし書きの懸念する多くの意見の多くと言う言葉は消してもらわないと。多くいったら全員が、というイメージ。そういう意見もありましたというなら分かる。</p>	

<p>こういう意見交換があつて、こちらに座っている人の顔ぶれは変わらないと思う。でもそちら側に座っている方は組織の中の面々だから、組織の言うとおりに動かないといけない。何かがあつた時に、前の教育長がこう言っていたとか、前の課長がああ言っていたとか、なるようなことがなければいいと思う。</p>	<p>しっかり繋いでいきたい。</p>
<p>【意見】 跡地活用。水洗小が残るだろうと思うが、この頃想定外の水害、災害がいっぱい起きている。水洗校区の避難場所は福祉センター。志から歩いて30分くらいかかる。国道を歩いていけばいいが、羽犬塚のところはこの間も通行止めになったと聞いている。渋滞したら行けなくなる。ましてや西側の道は、アポロの前の道は前から冠水していた。この間、新聞に載ったのは、区長さんが避難してくださいと言った時はまだ安全だと思うが、9割の方が言うことをきいていない。多分水洗校区も一緒だと思う。いよいよ避難しないとという時には、だいぶ水がたまってきている時。ここも危ない、あそこも危ないというところを20分、30分かけて福祉センターに行けるだろうかと思う。跡地利用で、水洗小の2階なら命だけは助かるのかなと思う。そういうことも含めて検討していただきたい。他所の学校も同じだと思う。</p>	

小学校再編計画(案)説明会・質疑応答(概要)

○日時:令和元年12月14日(土)19:30～

○場所:古島小学校多目的ホール

質問・意見等	筑後市からの回答
<p>福祉教育の充実ということで、コミュニティ施設の併設を検討するとあるが、今現在3か所ある。水田コミュニティ施設の云々は書いてあるが、古島の現在の施設については文言が無いので、意味が良く分からない。</p> <p>水田コミセンの話ばかりされているような気がする。長く一つの小学校ということでコミュニティの社会ができていたので、これが1ヶ所になるというのは相当難しい話である。</p>	<p>少し整理をする必要があると思う。記載しているコミュニティ施設は、高齢者の方と子ども達が触れ合えるような施設であったり、避難所として活用できるような施設のこと。水田コミュニティセンターがほぼなくなるので、そういうふうな複合的な施設を小学校と一緒に建設することで検討をするという意味。</p> <p>仰っているのは、例えば現在の校区コミュニティはどうなるのかということであったり、古島地区のコミュニティ施設はどうなるのかという質問だと思う。校区コミュニティについては、3校再編して校区コミュニティも一つにしてしまうとちょっと大きすぎるので、現状の校区の範囲でコミュニティ活動は継続していただくことになるだろうと思っている。その場合、名前をそのまま「校区」と残すと混乱するので、「地域コミュニティ」とか、そういう名前に変えないといけないのかなと思っている。範囲は現状でと思っているが、ただ、地域のことなのでそれは地域の皆さんが例えば古島と下妻のコミュニティ協議会が統合したいとかという話があれば、私たちは地域の意見を尊重してお手伝いをしていくという形で進めていきたい。</p> <p>施設の関係は、学校跡地の施設は基本的には取り壊しになっていくと思うが、全部取り壊さずに一部を拠点として残すとか、そういうことも例えばの話だが考えられる。</p>
<p>合併とか、統廃合に反対という訳ではないが、7年後、古島の人達はどこに避難したらいいのだろうか。そういうことは考えられているのか。</p>	<p>それについても、もちろん内部ではそういう検討はしているが、それを枠組みが決まっていないうちから出すと、「お前たちは決めてしまっているじゃないか」と言う話になったりする。なので、枠組みをまず決めさせていただいて、もう動かないという状況になったら具体的な検討を始めていきたい。</p>
<p>仰られるのは分かるが、跡地にそういう施設を作ってくれるのか、くれないのかも分からない。枠組みを先行されて、決まってから、いやこれは経費がかかるから校舎を取り壊し更地にして民間に譲渡されるとか売買されるとかなる恐れもあると書いてある。災害は絶対起こる。やはり地域の安全を考えていただかないと。グラウンドゴルフの時など避難訓練をやっているが、それさえできなくなってしまう。島田公民館に地域の避難ができるかという無理。避難準備情報は、早い時間から出される。その時だれも避難しない。真っ暗になって、本当に危なくなってから避難する。その時に水田まで弱者の人達が行けるのかという問題。だから、どうしても確約できないなら、校舎を半分にしてでも、複式学級にしてでも、拠点として残しておかないと古島の周辺の安全性は保てない。枠組み先行と仰るが、跡地はこういうことをやるから安心してください、といことが確約できなかったら、賛成できかねる。</p>	<p>卵と鶏の関係ではないが、跡地をどうするのかを示さないと、うんと言えないという話は確かにある。ただ、この場で我々がそれを言ってしまうと、なかなか先に進まなくなってしまうおそれもある。仰るように今の気象の問題は本当に恐ろしいものになってきている。近々益城町との交流も始め、実際に災害にあった時のノウハウを学びに行ったりもする。福岡県市長会でそれぞれの市で分担して物資を持ち合ってお互い災害の時は共有、連携しようという検討を今行っている。防災に関しては一朝一夕に進むものではないが、一步一步進んでいこうと思っている。そういう意味で仰ることはよく分かる。確約と仰られると言えないが、当然、避難する場所をどうするのか、災害の時にどのように早く非難していただくか、早く非難することが非常に大きな問題だと思うので、そこをどうしていくのか。あるいは、防災士の皆さん方の活躍する場も検討していく。避難所は当然最大の課題として確保していくということにはなると思う。</p>

<p>是非前向きに、校区の人達が住みよい地域していただかないと。子どもが少なくなっても地域住民がいるわけだから、安全も保てるように考えていただきたい。</p>	<p>防災の関係も大きな問題だと思っているし、コミュニティとかいろんな大きな課題がある。これについては、地域の方のいろんな考えがあるかと思うので、古島の校区としての総意としてこういう考え方がある、提案があるという部分についてはしっかり私たちは受け止めて、全部が全部できるとはなかなか申し上げられないがしっかり受け止めて検討させていただきたい。</p>
<p>跡地活用について、売却することが原則と書いてあるが、全て取り壊すことは考えてなく、地域の皆さんで協議をして、それなりに提案をしてもらえれば、検討していくということで聞き留めておいてよいのか。</p>	<p>跡地活用について、書いていることは同格とご理解いただきたい。一番上に売却が原則と書いているので私達がそこを優先しているのとられるかもしれないが、基本的な市のスタンスとしてあるということをお示しをして、方向性としては下にも書いているように地域の皆さん方と協議をして、ということはやっていききたい。スケジュール的にも令和2年に着手しているが実際は設計とかで2年くらいかかる。実際の工事は最後の3年間という形。5年間の中で方向性を協議をしていききたいと思っている。ご理解いただきたい。</p> <p>跡地の問題になると、市長の管轄になるので、最終的には市長がどう判断するのかということになってくる。</p>
<p>必ず残せとは言わない。行政としてこういう文章にならざるを得ないという理解をするが、いろいろ意見もあったので、尊重してもらえれば、ということ。</p>	<p>一般論で書いているが、例えば企業誘致、宅地造成などは、何等か地域のためになるような活用をしたいということ。例えば、企業が来てくれるかどうか全く分からないが、企業が来たとして、あるいは宅地造成をするとして、そういう時に、どういう土地の形状で売るのか、買ってくれるのかという条件面との折り合いとかも出てくると思う。その時にど真ん中に建物が残っていれば、それは無理だろう。そことの折り合いとか、いろんな条件面でできること、できないことを詰めながら、当然地域の方々のご希望なり、ご要望なりもお聞かせいただいて、可能な限り取り入れながら、ベストは案を作っていくということになるだろう。</p>
<p>資料には、統廃合は仕方ないだろうという点を述べられているが、統廃合で懸念されることがたくさんあると思う。そういうものを一つひとつ消していかないと、保護者の不安も募ると思う。統廃合することで懸念されることを市として文書か何か作っているのか。</p>	<p>11月10日に古島小の保護者会の要請で同じ説明をさせていただいた。いろいろ心配はあると思うが、一番大きな心配はいじめ問題。子ども達の数が多くなることによって、いじめの発生が心配だということ。これは去年の6校1校の時もメインだった。基本的ないじめ問題についての考え方は子どもの数が多かろうが、少なかろうが子どもたちの中では起こることがあるということ。多い方が一人あたりのいじめ問題は多いのかというとそうではない。小さい集団の方が組織が固定化するので、いじめは重篤化するという話をさせていただいている。いじめ問題のストップの要因は子どもの目、子どもの力が一番いじめの抑止力になる。とうことであればある程度の数は必要だという話はさせていただいている。</p>

	<p>手厚い指導とか、そういったことも出るが、筑後市は今35人学級ということで全ての学年を35人よりも少なくして、市が教員を配置している。36人いたら二つに分ける。だから18人。そういう学級構成を今やっている。18人以下になるとやっぱり厳しいのかなという思いの中で再編計画案を出させていただいている。例えば古島小は10人のクラスがある。男子と女子の割合が例えば8と2とかという状況で、どうしてもアンバランスが出てくる。良し悪しは両方あると思うが、課題はあるのかなということ。今後の子ども達には、意見を述べ合って折り合いをつける力を付けさせたい。例えば、跡地問題でもそれぞれに思いはあると思うが、こういうやり方で進めていきたいという話をして、折り合いを見つけながら進めていく。子供たちにもそういう力が必要だろうと思っている。ある程度の数のなかで、そういう力を磨いてもらいたい。</p>
<p>一番懸念するのは地域の衰退。学校がないということは保護者が家を建てようとするときに、わざわざ古島校区に建てようという気にならないのではないかと。文化的なことでも図書館とか中央から遠いし、地域がもっと元気にならないといけないなと思うので、跡地利用については本当に検討していただきたいと思う。</p>	<p>去年も地域からはそのご意見が一番多かった。個人的な考え方だが、例えば水田小跡地に新しい学校を作ったとして、スクールバスでここから10分。一般的に学校が無くなると衰退するというのは、山間地域はそうだ。学校が無くなると下りてくる。もっと言うと下りてきて筑後まで来ている。そういう流れができるが、平地のところは、その動きは意外と出ていない。視察に行ったが、大牟田で大牟田中央小学校というのが上官小学校と大牟田小学校が再編して、上官小学校が小規模校だったが、そこが衰退しているかという、全くそういうことはない。飯塚市もそうだった。山間地域と平地は違うという期待を持っている。資料に学校の再編は校区の広がりということを書いている。文化の広がりもあるけど生活圏の広がりもあると思う。今回500人くらいの学校ができるが、その学校を中心とした地域の広がりの可能性は出てくるのかなと思う。そういう面では、下妻も含めて、ここにも新しいひとつの学校の校区として家が建っていくのではないかという思いは持っている。</p>
<p>C案の中で新設校が2校ある。最終的に、どういう状態で決定になるのか。 もし、例えば2校が1校になるのが、どうしても合意に達しないという場合は、3校が1校の方は、これだけでもC案として進むのか。 これで説明が終わった、決定だ、というのはどういふふうにするのか。</p>	<p>3校と2校の新設校は新築と改修ということで若干の違いはある。資料に書いているが、新築校については「先行して」としている。古川小と水洗小については若干意見の割れが出ているので、引き続き協議をしながら、それも含めてC案として進めさせていただこうということで考えている。 最終的な決定は、教育委員会が決定することになっている。1月に全員協議会をお願いしようと思っている。説明会をしてご意見をいただいた中身をお伝えして、ひとつの方向性を出させていただいて、もう一度校区の説明会に、今度は市長トップにして、お邪魔させていただこうという計画を持っている。ご理解いただければ、それを踏まえて最終の決定という形で進めさせていただきたい。</p>
<p>今年度に決定する予定ということは、2年度から着工に入る訳だから、来年3月31日までは決まるといふことか。</p>	<p>今回、再編の枠組みと場所について、方向を出させていただいた。令和2年度から着手としているが、実際に工事が始まる訳ではない。設計などを考えていく場合に予算が必要。その予算の計上をさせていただいて、議会で予算が通れば、令和2年度からこの計画で進めさせていただく。</p>



<p>山川の南部小学校は廃校になってバイオマスとかの工場ができています。その上に北の関がある。学校が無くなったために避難所の問題とか、不便になったとかいろいろある。子ども達はスクールバスでいいけれど、住民の方が困っているというのが実状。久留米のサンライフも署名運動をやって、住民が反対というが、最終的には行政に押し切られてしまって閉鎖になる。跡地利用で確約が欲しいと言ったのは、住民がどんなことを言っても行政が強い。それでは困る。行政が議会で決まったから、経費がどうだ、管理費がどうだということで、結局地域住民が犠牲になる。我慢しなければいけない。是非、地域住民の意見をもっと組み入れてより良い跡地利用を検討していただきたい。</p>	<p>真摯に対応していきたい。</p>
<p>跡地利用で地域の活性化に向けて、文言は「可能な限り尊重する」とかできないか。今後は跡地利用については地元としても真剣に取り組みたいと思うので、よろしく願いしたい。</p>	<p>組織が立ち上がったということも伺っているので、率先してそういう組織の中で議論していただいて、ぶつけていただけると有難いと思っている。一緒につくっていく必要があるかと思うのでよろしく願いしたい。</p>
<p>跡地活用について、「普通財産として売却することが原則」と一番最初に書いている。住民の意見を聞かされているが、こういうことが一番最初に書かれているということはおかしい。覆すことはできるのか。</p>	<p>基本的なスタンスはきちんと示す必要があると思います、書かせてもらっている。先ほど申したように1行目から6行目まで同列だという話をさせていただいたので、それで是非折り合いをつけていただきたい。</p>
<p>分かったが、この文言が一番最後の方に書いていただきたい。</p>	<p>検討させていただく。 行政の仕組みを説明させていただききたい。行政が持っている土地とか建物の財産は行政財産と普通財産に分かれる。例えば小学校の建物と小学校の敷地は、はっきり行政の目的が決まっているので行政財産。これが学校でなくなれば、目的が無いわけだから普通財産と言う。そうした時に行政は、そういう目的の無いような財産を無駄に持つておくべきではないという基本的な原則がある。無駄な財産を持つておくということは、税金をそこにつぎ込んでいかなければならなくなる。無駄なことはしてはいけないということがベースにあるので、先ほど言った並列に見てくださいということは、順番を逆にしてもいいのだが、まず地域の役に立つような目的が見つけて、使いますということであれば、当然使いますということ。それで例えば、余った土地がでたとかという場合には当然売りますよ、というのが大原則。それは国であろうが県であろうが全てそうだ。もちろん活用する目的があれば皆さんのために当然活用しますよ、ということ。余ったものは売りますよ、という話なので、そこのところをご理解いただきたい。</p>
<p>地域住民の主張が通るのだろうか。</p>	<p>正直そう思っている。個人の意見もかなり入っているが、衰退しないということを書いているので、そのためには、一緒に考えて作っていかねばいけないという思いは持っている。よろしく願いする。</p>
<p>【意見】 最終決定する場合に、市長がそれぞれ校区に出向いて説明する場所を設けますということなので、その時には地域の意見を集約して、しっかり市長にぶつけたい。</p>	

<p>【意見】 アンケートは、ほぼどこも反対意見は無かったみたいなのを強調してあるが、反対意見はある。賛成する方は何らかの条件を持って賛成だ。再編するのはいいが、少なくともこれだけは守ってくださいという声を私も実際聞いている。全部反対意見は無かったと誤解されるようなアンケートのまとめ方になっているので、そうではないと言わせてもらう。</p>	
<p>学校については準備委員会と明記してある。跡地についても準備委員会ということでも明記していただきたい。</p> <p>もう一点。期待される効果で、いいことばかり書いてある。お聞きしたいのは、最適な規模はどれくらいなのか。筑後地区や福岡県で学校再編がどれくらいの比率で行われているのかということをお教えいただきたい。期待される効果とかいっぱいあるから、全国的に再編が行われているのだろうかと思う。そういうデータでもあれば、どれくらい行われているのか、まだ行われていないところがどれくらいあるのか、教えていただきたい。</p>	<p>跡地活用の検討について、資料に再編準備委員会とあるが、例えばここで検討するのも一つだろう。あるいは別途に跡地活用検討のための組織を作るのか。そこは市長と話をしていて、市長が出向いて皆さん方と話をする時には、多分、市長からそのこの方向性は出ると思う。</p> <p>240人から540人が適正規模と言っている。データは、今はないが、全部がその範囲に入っている訳ではない。再編は地域地域で行われている。だが、途中で止まったりとか。ここも30年くらい止まっていた。今ようやく、ご理解をいただきながら進んでいる。どこもそういう流れの中でやっている。再編したところがさらなる再編をして、スクールバスで50分という地域もある。それが本当に再編OKなのかというと、私は、それは疑問だ。ここはスクールバスで行けば15分くらいなので、有効な方策と思っている。</p>
<p>古島としては、12月15日までにこの返答してくれということで大変困った。まず枠を決めないという前にも行かないということ、言われたから、検討委員会をつくって区長の他に有志1名づつ約14名でやった。その中に出てきたのが、もう大体再編には賛成。ただ条件というか、跡がどうなるかとか、そういうことだ。やはり南西部をどうやって活性化させるかということがあってもいいと思う。しかしそこも枠組みと場所が決まらないことにはなかなかできないということなので、それが非常に残念というか、本当にやる気があるのかなと思う。</p>	<p>学校再編のやる気はある。</p>
<p>【意見】 私の感想だが、学校が無くなってもどうにかなるだろうという答弁があったが、私は疲弊するだろうと思っている。良くはならない。新聞に東北の震災で地域がバラバラになって、その後何人か戻ってきて、地域をどう立て直すかということになって、なかなか難しいとなった。そこでまとめやすいのはやっぱり学校。学校に通っている保護者をまとめて、それが唯一地域が少し立て直るだろうということだった。古島小が無くなるということであれば、古島としてのまとまりというのは、何でまとめていくかは難しいと思っている。昔だったらお宮まつりとか、農業は昔は全てが共同作業だったから、助け合わなければ生きていけなかったが、今は無くなってしまった。私としてはそういうことを覚悟しながら、跡地利用も含めてどうしていくかについては、最大限の意見を市に申し上げて、市としても下妻小、古島小、南西部の全面的なバックアップをお願いしたい。</p>	

小学校再編計画(案)説明会・質疑応答(概要)

○日時:令和元年11月16日(土)15:00~16:00

○場所:市役所302会議室

質問・意見等	筑後市からの回答
あいさつで、結論というふうの説明されたが、再編の枠組みは決まったところでの位置の話となるのか、それとも再編もまだ決まっていないということか。	決定と申し上げたのは、3案の中からの決定ということで、枠組みの提案をさせていただいているということで話をさせていただいた。今、枠組みが決定しているということではない。
C案で進めるということは、枠組みは決まったということではないのか。	3つの案を提案させていただいていた。その中から、今回は1案に絞って提案をさせていただくということで議会にも説明をして、今、1案に絞らせていただいている。あくまでも(案)ということはお変わらない。今伺っているご意見を私共で整理をして、教育委員会としての決定事項ということで改めて説明をさせていただこうと思っている。
水田校区は、今有る場所から動かないので、皆さんそんなに活発な意見がでなかった。歩いて来る距離とかくらいしかでなかった。下妻や古島校区はどんな意見がでてくるのか興味があったので今日来てみた。	古島校区は、学校行事の後に設定していただいたので、保護者の方と話をした。その時はどちらかと言うと、C案になった場合に例えばスクールバスがどうなるのかとか、学童がどうなるのかというようなお尋ねが中心だったと思う。
もう次の段階の質問ということか。	ほぼそういった状況でお話をいただいた。答えられない部分が多かったが、これまでお話してきたなかで考え方をお示ししていることをきちんとお話をさせていただきました。
<p>【意見】古島校区に住んでいる。合併には賛成だが、古島・下妻・水田の新しい学校の位置は、当初の6校を1つにする案の時なら水田小ならびに筑後中学校隣接は納得がいく。これが取り下げられて、古島・下妻・水田では水田小跡地になると一番端になる。官公庁、大きな機関というのは大体その地域の真ん中にくるのが定説。大体中折地か折地の辺りが真ん中。そうすると、古島も下妻も水田も納得できる可能性がある。</p> <p>いつも反対者が言っているのは、筑後市から古島は捨てられるぞと。それに則ったような案だ。その先に6校がという可能性を考えているのなら分かるが、それを外しているなら、私の意見だが、下妻・古島・水田にまたがるような地域に建てるのが筋ではないか。それならば地域の学校という意識が芽生えるのではないかと思う。土地からしても水田のあたりは跡地を売れば坪11万、折地のあたりは坪2,000円。</p> <p>ただ、皆さんが通勤している方向はみんな水田を通過して羽犬塚の方へ行くから、そっちの方がいろんな意味で便利ではないかということがあれば納得できるが。完全な吸収合併というか、違和感を感じる。</p>	
<p>【意見】水田を今の場所から移動するとなると、水田校区としては非常に反対が出ると思う。それなら水田は水田だけでやりますよと、皆さん言われる可能性がでてくると思う。これは言いにくいですが古島と下妻のご父兄の方たちにはご理解していただきたいと思う。水田は水田だけでいいと言われる方は結構多い。合併して真ん中になるというなら、水田だけで良いと言われる可能性はある。</p>	

私は再編には賛成。位置関係について疑問はあるが、学校の分け方としては賛成。その上で意見を述べたい。経緯からいくと最初は再編そのものに反対する人が多かったと思う。そこは徐々にご理解いただいたうえで、再編する前提で話が進んで、この案に絞り込みができてきているのではないかと思う。学校の分け方が決まっていな段階で詳細のところの話が進んでいると思うが、その部分は早めに決めないといけない。分け方は、地域的なバランスとしては妥当だと思う。水洗と古川が一緒、古島、水田、下妻が一緒。ご意見でC案が一番妥当と皆さん言っているように地域的なバランスとしては妥当。早めに分け方を決めた方がいいと思う。

その上で話し合いも、水田・下妻・古島の会議、水洗・古川の会議としないと時間の無駄。私は水洗・古川の地区。早めに学校の分け方を決めて、会議は場所や日にちを分けてその学校単位で話し合いをしてもらった方がいい。後はどこに新設校を持って来るかの位置関係を話すという流れで進めて行った方がいい。そこを早めに決めないと時間だけ過ぎていって、私は子育て世代だが、このままずっと流れて、子供が結局小学校卒業して終わってしまうような気がしている。これだけ人口減っているのでやらなければいけないと思う。分け方としても皆さんが大体納得できる地域的なバランスだと思うので、枠組みをある程度決めたところで次のステップに早く移った方がいい。その新設校の新設地、水洗・古川であれば中間地点に設けるのか、水洗小を改修するのかという話だが、早く取り掛かかって、土地の購入にも時間がかかるだろうから、そういったところの方に時間を割いて行った方が、我々子育て世代としては助かる。

資料を読んでいると、これはあくまでも教育委員会という眼鏡を通した今後の合併の案だと思う。うまく言えないが、古島校区に住んでいて、ちょっとニュアンスが違うように感じる。物的なことは全てクリアできると思うが、例えば40年も50年も古島小学校と地域で取り組んできたことが崩れる。それを水田の方に移行した場合、数も多いから多分維持できない。私はコミュニティ役員しているが、今、協働推進課とどうしていくかということ在必死になってやっている。コミュニティも学校とか子供達、今の若い世代をターゲットにして、今後地域を担う人の養成として、ここ何年か取り組んでいる。そういった面から見た場合に、合併した場合どうなるのかという視点から考えているのか。協働推進課のコミュニティから見た、合併によりどうなっていくのか。コミュニティは解散するのか。水田と大きいコミュニティになるのか。例えば都市計画の点で、農村地区だが、その点における学校がなくなることをどう見ていくのか。そこを是非、ほかの分野から検討をお願いしたい。

今の手続きとして、10月21日の全員協議会でこの案を提案させていただいて、このような説明会、パブリックコメントで市民の皆様にご意見を伺いたいということを示させていただいている。それを受けて決定させていただきたい。その中で今言われたように枠組み、位置について、特に古川・水洗についてはまだご意見が分かれていますので、ということで、今提案させていただいているので気持ちとしては私どもも一緒。

地域で子供達と一緒にいろんな行事をやってもらっているし、各学校で伝統を支えるような行事をされている。今は小規模の学校は全校児童で1つの行事を全部やっている。例えば古島小学校の「はんぎり」、下妻小学校の「ドロリンピック」などは、新しい学校でも学年のなかで取り組ませていただく。計画案に書いている校区の広がり、子ども達の視野の広がりというのはそういったイメージを持って書かせていただいている。教育課程を組むのは、新設校の校長先生の権限であるのが、そういうアイデアは示していきたいと思っている。仰るように、例えば今の古島小学校と校区コミュニティのいわゆる共同事業みたいなものはなかなか難しいというか、できない。再編した校区コミュニティは広すぎて、多分運営が難しいだろうと思っている。今の校区コミュニティのエリアでコミュニティを存続していただくように思っている。ただ地域のことなので、地域の皆さんが、例えば古島と下妻コミュニティを合併したいというご意見になれば、我々としては、お手伝いはしていこうと思っている。

	<p>ただ今の古島小学校区コミュニティの子ども達との連携の継続はできるのではないだろうか。必ずしも小学校単位でなくても、元々の小学校の地域の子供達とコミュニティ協議会との連携は今もやってもらっているが、それは継続していただけるのではないかと思っている。難しい部分もでてくると思うのでそれは実際にそうなった時、あるいはそうなる前から、協働推進課と地域とが話し合いをしながら、どういうふうに進めていくのかということと一緒に考えていかなければと思っている。</p> <p>まずは子ども達のためにどういう集団を作っていくのかということを中心に、先ほどからも意見いただいたが、まず枠組み、位置等決めさせていただいて、それが確定すれば、こういった課題がある、それに対してこういう対応していこうということが具体的に決めていける。また地域の皆様方と一緒に話し合いができる状況になると思うので、我々としてはできるだけ早く計画案の「案」を取れるように進めていければと思っているのでよろしく願いたい。</p>
<p>コミュニティだが、コミュニティは今まで通り校区で、コミュニティスクールは学校なのでPTAと一緒にするので、統合したら統合したコミュニティスクールでやらないと非常に難しい。そこはやはりコミュニティスクールでやるのと、今まで通りのコミュニティでやるのと棲み分けをして進めた方が良い。今まで通りの小学校単位でやるならいいが、棲み分けをしないとみんな戸惑うのではないか。</p>	<p>コミュニティスクールはもともと1つの学校で1つのコミュニティスクールなので、その運営はそれで当然進んでいくことは間違いない。ただ、今申し上げたのは、今の校区コミュニティ協議会を今後どうしていくのかという話なので、コミュニティスクールとは別ものと考えていただきたい。もちろん運営には関わっていただくが。</p> <p>今は「校区コミュニティ」で通じるが、今度は「校区コミュニティ」という言葉が誤解を生みやすいので、例えば「地域コミュニティ」などの名前に変えるなどの工夫はしていないといけない。「校区」というのが冠に付くとごっちゃになりやすい。そこは整理していないといけない。</p>
<p>最初に出た案からこれに落ち着いて正直ほっとしている。水洗小は古川校区の鶴田からの通学生も随分いる。船小屋地域の自由校区は私達が小さい時からあった。だからそれが今度一緒になることでその問題が解消されるのがすごくいいと思って聞いていた。特別許可区域を絶対認めないような感じで書いてあるので、せっかく和やかに進みかけたのに、ここが引っかかった。もう少し柔軟に進められたら、合併したところに行くよりもこっちに行った方が近いと思われる方もいらっしゃると思う。「べきである」というように書かれたら、すごくショックだ。長くなるからスクールバスで行けばいいという考え方だけではないと思う。柔軟な考え方を持って、いろんなことがあると思うが、大変だと思うが、もう少し子どもの立場に立った時どうなるかということを考えて進んでいただくと、良い案だと思う。</p>	<p>非常に難しい課題。以前からのいきさつがあって特別許可区域ができていたが、基本にあるのは、この行政区はこの小学校に行きますということが本来あるべき姿だろうと思っている。今回ここに書かせていただいているのは、あくまで3つの学校が1つになる、2つの学校が1つになることによって、新たに違うところでできるようなことは避けていきたいということで書かせていただいている。これに関しては、今柔軟性があった方がいいのではないかというご意見もいただいたが、一方では子供会組織などから、こっちに行ったり、あっちに行ったりでなかなかまとまらないので、整理してほしいとの意見もたくさん聞くところ。いろんな意見があるので、踏まえさせていただいて整理に向けて考えていきたい。</p>
<p>【意見】水洗のコミュニティの中でも、今それがすごく問題になっている。学校行事でするときと、地域だけでするときで、あなたは入れる、入れないとかそういうことは言えないだろうということで、コミュニティ自体もすごく悩みながらいろんな行事を考えている。</p>	

【意見】私は鶴田地区で、水洗小にも、古川小にも行ける地域。子どもをどちらに行かせようかと考えているところに、この話がでている。私自身は水洗小出身。鶴田地区から通っていた。私も子どもの時から感じていることで、水洗小はグラウンドが狭く、敷地的に厳しいかなと、出身である私でも思う。古川の方も古川小から小学校がなくなることを避けたいという意見があるが、同じく水洗小の方も母校がなくなるのは嫌だ。中間地点に新設校を作るとかというところで落ち着かせていくのが妥当なのかなと思う。新設校を仮に中間地点に作った場合、やはり小学校は避難場所ということで、矢部川がすぐ近くで、最近関東の方で水害が多発していて、矢部川がいつ氾濫するのかとヒヤヒヤしている状況なので、折角新設校を作るのだったら、そういったところを魅力あるような、お金を折角かけるのだったら、そういう対策をしたところで避難所としても十分機能を果たせるような学校を建設してほしい。位置も含めて学校そのものも、高台というか、高めることになるだろうが、そういったことも含めて考えていただきたいと思う。

小学校再編計画(案)説明会・質疑応答(概要)

○日時:令和元年11月17日(日)10:00~10:30

○場所:市役所302会議室

質問・意見等	筑後市からの回答
<p>ただし書きのところの解釈だが、場合によっては場所が変わるということか。案では水洗小学校の改修との提案があった訳だが、これからの地域住民との話し合いの中で変わる可能性があるということなのか、難しいところだと思うが、そこが分からないのでお尋ねしたい。</p>	<p>古川校区の方から場所の問題について、強いご意見をいただいている。 水洗校区の皆さんには場所は水洗小学校の案でしか説明をしてきていないので、古川校区の総意として、水洗小敷地では認められないという話であれば、また改めて水洗校区の皆さんにも場所を変えたいという意見があっているが、どうでしょうかという話から始めていかないといけないと思う。今回私達としては、この案でいきたいと今の段階では思っている。改修で対応させていただく計画なので、水田・古島・下妻の新設校に比べてもう少し取り掛かりが遅くなっても目安としている令和7年には間に合うだろうというところで、その期間を利用して、いろんなお話を聞きながら、場所の問題については考えていきたいと思っている。</p>

小学校再編計画(案)説明会・質疑応答(概要)

○日時:令和元年11月19日(火)19:00~20:00

○場所:サンコア視聴覚室

質問・意見等	筑後市からの回答
<p>利用している野球連盟の代表として質問したい。当初から心配はしていたが、水田コミセンの野球場がなくなることは確実だろう。私達はコミセン野球場を毎年公式試合も含めて野球連盟の唯一の球場として利用している。これがなくなると大変なことになる。6校を1校にするという時から、代替案を確保してほしいという要望書を市に出した。その後、修正案としてA・B・Cの案が出された時も、改めて市の方へ、もしコミセンがなくなるのであれば、代替案、新しい球場の確保をお願いしたいという要望書をだした。議会の方にも同じ内容で要望書を出させてもらった。市の方にも社会教育課等を通して、筑後市の野球に大変大打撃だということを口頭でも伝えていた。その時にはまだ具体案はないということだったが、是非とも決定するまでには何らかの具体的提案がほしいということも申し上げていた。今回全員協議会の中で説明し、これで進みたいということで、ほぼこの案で進むだろうという段階までできているので、私達が要望していた問題について今までどういった形で何か検討されて、現在こういったことで考えているといった内容があるのか、決められているのかお聞きしたい。</p>	<p>今回、コミセン敷地を活用させていただくということで進めていきたいということになった。要望もいただいているので、どういった方向でやるのかということについてはいろいろと話しているが、まずは枠組み、場所がきちんと確定をしないと、決定まではなかなか難しいということもあり、例えばどこにどうするという細かいところまでの決定はできていない。しかしながら要望をしっかりと踏まえて、新たな場所への移転、学校の跡地を移転先の候補として考えるという方向で具体的に検討をしようと考えているところ。今のところ具体的には決めきれていないということで、ご了承いただきたい。</p>
<p>具体的なことについては、前回と同じような内容と承った。たしかに学校敷地がコミセンの代替地になるというようなことは書いてあった。原課の話し合いの中で新たな球場を何とか確保すると口頭ではいただいていたが、令和2年から着手するという事になると、学校敷地を利用するといっても完成するまで野球場がない。もちろんテニスも弓道場も同じだろうと思うが。その間についてはどのように考えておられるのか。例えば今まで同様に野球をすることに支障がないよう、何らかの形で検討をしていただいているものだろうと思うが、そこについてはどのようなお考えか。</p>	<p>それについては、代替施設の確保等に努めていかなければならないと思っている。具体的にどの時期にどういうものがあるということが野球連盟の方にあると思うので、社会教育課の方ですり合わせをさせていただいて、どういったことが我々としてできるのかということを考えさせていただきたいということも既にお話させていただいていると思う。計画が確定すれば具体的な話ができるようになると思っているので、まずこれをしっかりと確定させて、代替の確保や、運営に支障をきたさないためにどういうことができるのかをきちんと詰めさせていただきたい。</p>
<p>野球連盟として質問させていただきたい。施設整備の中で令和2年度より着手し、令和6年までに整備を完了するとある。着手が来年度からということになると、実際の工事の着工は、どのように考えているのか。</p>	<p>きちんとしたスケジュールをまだ立てている訳ではない。一般的にいうと基本計画、基本設計、実施設計等に2年くらいかかる。建設には3年くらいかかるという目算をたっている。令和2、3年度が設計関係、4、5、6年度が建築というスケジュールになると思っているが、まだ決定ということではない。</p>
<p>令和元年度は野球は終わって、令和2年に向けていろんな準備をするが、令和3年度までは野球場は使えるということか。</p>	<p>確定ではないが、計画では2年間設計等の作業があるので、その期間は使えるのではないかと考えている。</p>
<p>その間にいろんな協議を行うという形で工事期間中にどこで野球をしたらよいかという話をされるということではどうか。</p>	<p>そのつもりだ。</p>
<p>【意見】コミセンは、使用料はない。場所によっては必要になることもあるかもしれないので、そこも含めてご検討をお願いしたい。</p>	



<p>学校の跡地利用についてお尋ねしたい。売却、企業誘致、宅地造成などが書いてあるが、その場合、今市に不足している施設とか、施設を新しくするとかはあるのか。地域の総意として要望があればお聞きしますとなっているが、その意見の吸い上げについて今現在どういったものを考えているのか教えていただきたい。</p>	<p>基本は売却。ただ地域の要望があって地域の活性化に資するような活用方法があれば、それについては地域の意見も吸い上げる。そういうものとして考えられるのは、企業誘致や宅地造成などということ。勿論地域の皆さん方のご意見も伺っていく。</p> <p>去年、6校区で地域の方、保護者、校区の代表者の方々などと協議をさせていただいた時も、跡地利用はどうするのかと聞かれた。ただ今回の提案は冒頭から申し上げているように、学校の枠組みと位置の提案。それが決まらない限りは、跡地利用の案などをこの議論の中に一緒に入るとまとまらないということがある。今の段階では、今回書いていることを原則として、お話をさせていただいている。いろいろな条件などが付いてきたら、計画が決定していかない。これで議論していただいて、その段階が済んで、次にいきたいということを進めている。</p>
<p>予想通りの案になったかなと思う。水洗校区としても説明会でいろんな意見がでていたが、そのような方向で検討されたのだと思う。ひとつ心配なのは場所の問題。例えば古川小学校との中間地点であるとか、いろんな考え方があると思うが、水洗校区の説明会の時には、そういったことは一切なくて、水洗小を改修して、そこに2校を合併するということがあった。その時は、この際だから敷地を拡げたらどうかというようにいろんな意見がでてきたが、来ていた人は水洗小を改修して合併をするというようなことで理解をしていると思う。場所については協議、見直しをするということになると地元の人達がどのように考えるのが非常に懸念する。話し合いを進める前に、そういう状況を十分知っておく必要がある。どうなるかは知った上で進めてもらわないといけない。そこはどのようなお考えか。</p>	<p>仰っていただいた通りだ。水洗校区のみならず、市内全域にA、B、C案をお示しし、その中から1案に絞り込むという話をし、位置については現水洗小学校敷地、現水洗小学校施設の改修という案だった。それでしか水洗校区も議論をしていない。ただ、古川校区の方では異論、違う意見がかなり出たという状況があるので、「引き続き協議をさせていただく」というただし書きを付けたとご理解いただきたい。この案で決まれば、また古川校区でお話をしていくが、やっぱり水洗小の敷地では古川校区はまとまらないということであれば、水洗校区の方にもお話をし、お伺いをし、意見をいただいてというやり取りをしながら進める必要がある。そういった時間をもうちょっとかけさせていただきたいということを含めた計画案ということにしているのをご理解いただきたい。</p>
<p>【意見】野球連盟として。跡地活用について、跡地については基本的には売却と話をされ、地元から跡地利用について提案があれば実現性を検討とあるが、野球連盟としては跡地となるのは下妻と古島と古川小だと思うが、その中で野球場を作ることが可能な広さがあるときは、何らかの形で野球場も検討していただきたい。</p>	
<p>今回6校が再編の対象になっているが、その他に5つの小学校がある。聞いた話では西牟田と二川をくっつけるとか西牟田と松原をくっつけるとかいろんな噂を耳にした。そういうことも含めて将来的に筑後市の小学校についての教育に関する大枠、どういうビジョンを持っているのか。</p>	<p>市全体としては、子ども達の状況が今後どうなるかを見極めながら、組み合わせ方も含めて考えていかなければいけないと思っている。今回6校に絞ったのは、今のところ3中学校区のバランスがいいので、中学校区の区域は変えたくないという考えで、筑後中学校区ということ。今、西牟田と二川という話ができたが、今の区域割では中学校は別。今後の方針としてはやはり北中学校区内での小学校の構想かなと思っているが、現時点では、それはあがっていない。やはり子ども達の推移、全体のバランスをみながら、50年先には、50年もないのかもしれないが、中学校の再編を考えなければいけない。そのときには中学校区を越えてというのものもあるかもしれないが、今は現在の中学校区でという考え方。どこをどう再編するかということころまでは今の時点ではない。</p>

<p>羽犬塚小などの大規模校に比べると、再編の対象になっている6小学校に関しては規模が小さいという捉え方をされていると思う。子ども達1人当たりのことを考えると、そこに掛かってくる費用、先生の数、設備などいろんなことを含めて、教育というのはやはり、みんなが平等に受ける権利が守られなければいけないのではないと思う。その時に大規模校、小規模校の差を少しでもなくす、理想に近づけるための今回の再編の案だと思う。そういうことも含めて筑後市で育って、将来はこの筑後市を担っていく子ども達の教育に関して、将来的なビジョン、希望を聞かせてほしい。</p>	<p>筑後市としては子ども達の生きぬく力、今後の不透明な世の中にあって、自分の力で課題を見つけて選択して解決する力をつけていきたいという理念を持って学校教育を進めている。その最たるものは先ほど仰っていただいたように、少ないところもあるが35人学級でやっている。国は40人なので、筑後市独自の予算で、36人いたら18人、18人の学級というやり方でやっている。しかし18人以下になった時、学級としてどうなのか。教育活動をやる時、学級単位としては18人が限度かなと思う。ある学校で10人の学級で男子が8人、女子が2人など、その時体育の授業がどうなのかという話が現実問題もあり、最低限の数が18人くらいかなと思っている。100人以下の学校の解消というのはそういった考え方があるから。そのことが全ての筑後市の子ども達の教育の機会均等というか、条件整備かなという思い。手厚く少ない方がいいという考え方もあるが、やはりある程度の数があつた方がいいという考え方に立って再編を進めている。ある程度の数の中で切磋琢磨して、個性をぶつけ合いながら、生き抜く力を培っていくというのが、子供たちに将来に向かっての展望として重要かなと思っている。</p> <p>また、基本理念としてキャリア教育というか、志を持って生きていくような子ども達を育てたいと思って、子ども達に伝記を読んでくださいと言う話をしている。伝記の中には志があるし、社会貢献があるので子ども達がそういう中で生き抜く力のエネルギーを見つけてもらいたいという思いを持っている。意見発表会をやったり、中学生では職場体験などいろんなことをやっている。基本は子ども達の生きる力をどう育んでいくか。筑後市には2つの県立高校があるので、教育委員会主催で県立高校の説明会をもらっている。2つの高校に毎年夏休みにお伺いして、高校の進路指導の在り方を小学校5、6年生の保護者と子ども達に高校の先生とか生徒さんから説明してもらおう。柱は将来に向かって生きぬく力をどうつけていくかということ。社会教育でもボランティア塾などをやっている。基本理念は、将来に向けてどう生きていくのか、その結果として筑後の良さとかを子ども達に見つけてもらおうと有難いと思っている。</p>
<p>今日の前に2日間開かれた説明会の人数、その時に出た意見なども聞かせてほしい。</p>	<p>土・日に東庁舎で説明会をしている。参加者は7人と7人で少人数の参加だった。意見はきちんとまとめていないので、記憶で言うと水洗と古川の学校の場所を変えてもいいのではないかという意見も出た。場所についてではなくまず再編の枠組みを決めた方がいいのではないかというご意見もいただいた。ただし書きの意味がどういう意味かというような質問もあった。古島・水田・下妻の場所を3小学校の中間地点ではどうだろうかというご意見もあった。</p>